

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 江差病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	-	ド透未訓	救臨感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,139,913	12,101	-	第2種該当	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
146	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
48	4	198
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
51	-	51

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

南檜山第二次医療圏における地域センター病院として、圏域で唯一の精神科医療の提供及び人工透析を実施するとともに、救急医療機関として輪番制に参画していることや、災害拠点病院の指定を受け、災害発生時にはDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣体制を整備するなど、救急医療や災害医療の中心的な役割を担っている。また、令和4年度は新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、地域の感染患者の受入れを行った。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、新型コロナウイルス感染症緊急包括交付金の減少により低下している。

⑤入院患者1人1日当たり収益については、平成30年度から入院単価の高い地域包括ケア病床が稼働となり増加傾向にあった。令和4年度は総合診療科において、単価が高い新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行ったため増加している。

⑥外来患者1人1日当たり収益については、患者数の減少や単価の高い透析患者の退院等により減少している。

⑨累積欠損金比率については、医療収益の増加により低下している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、有形固定資産の耐用年数を経過しても使用していることから、前年度比で上昇している。

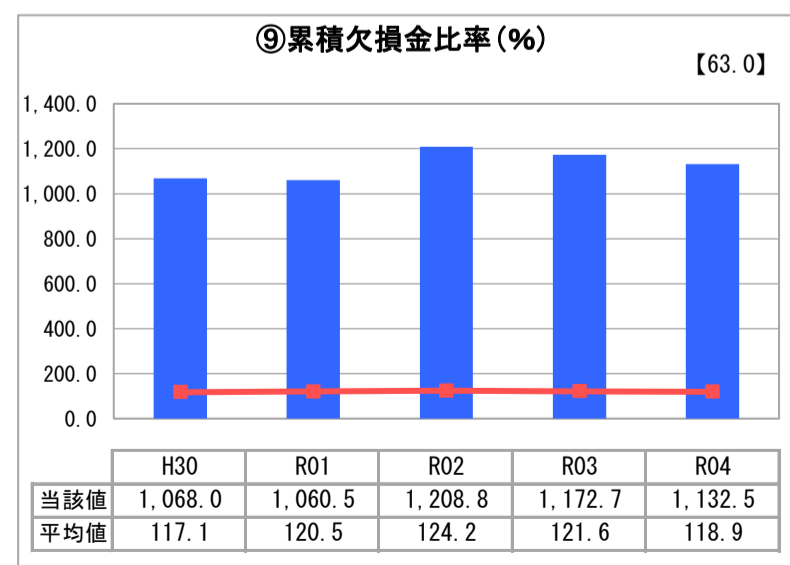
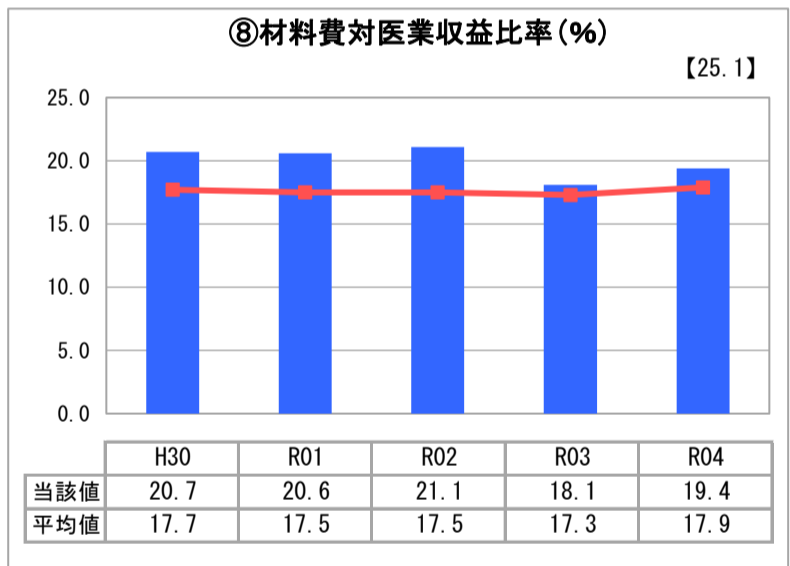
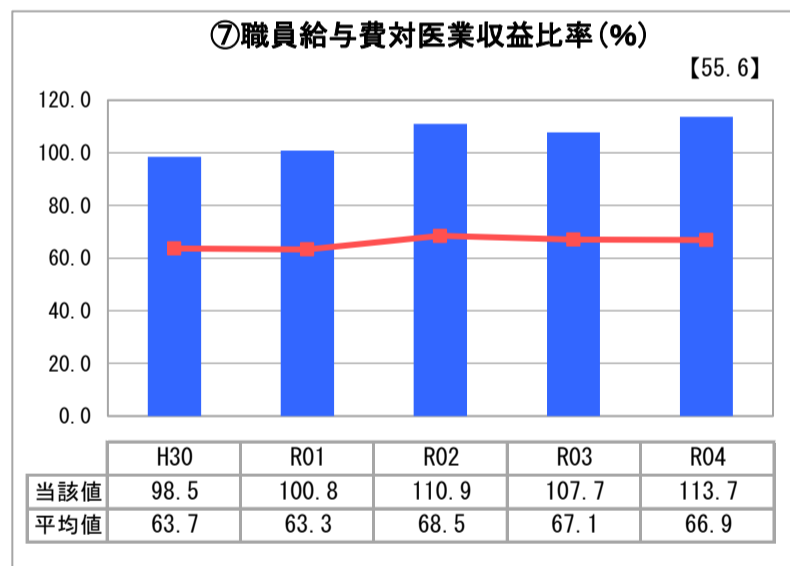
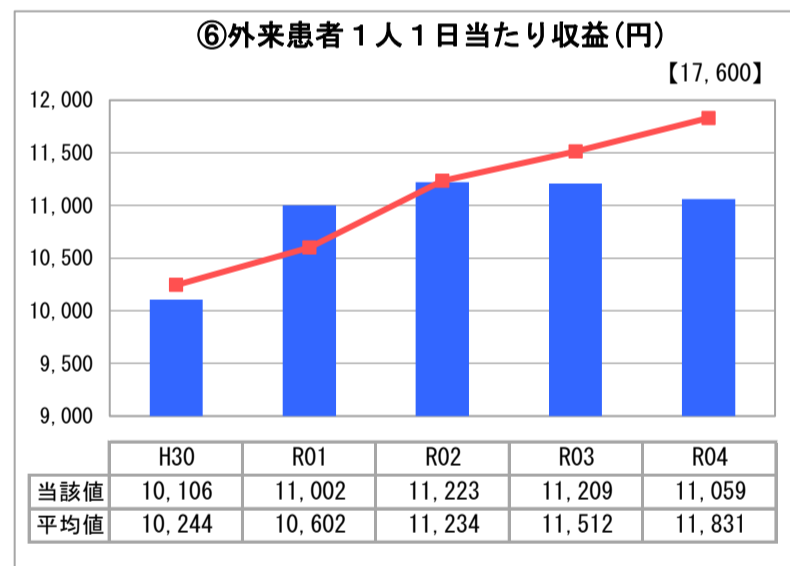
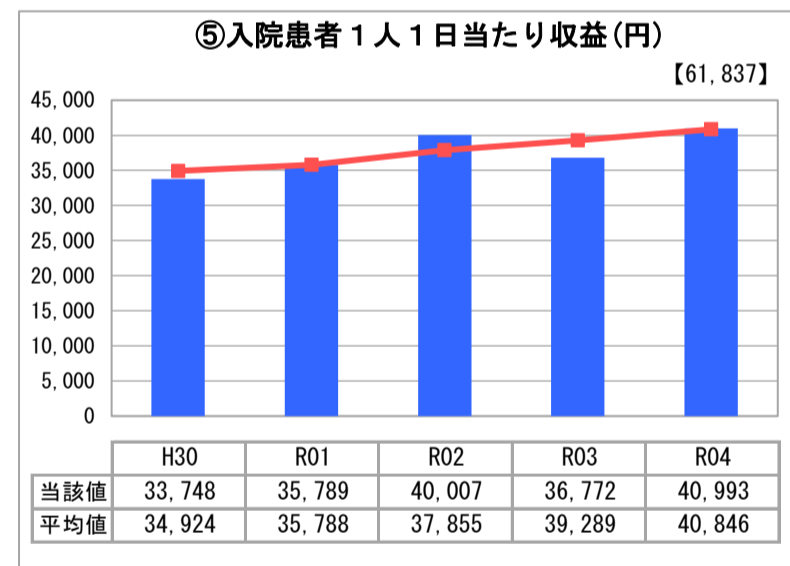
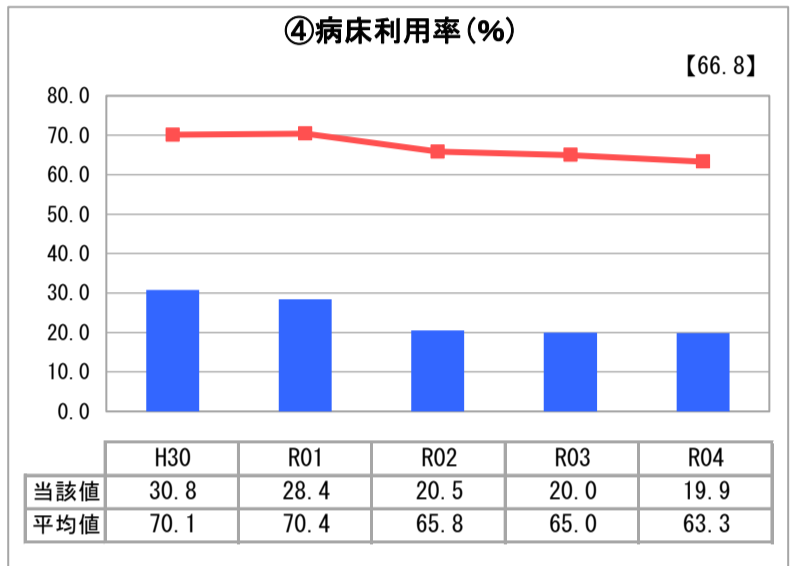
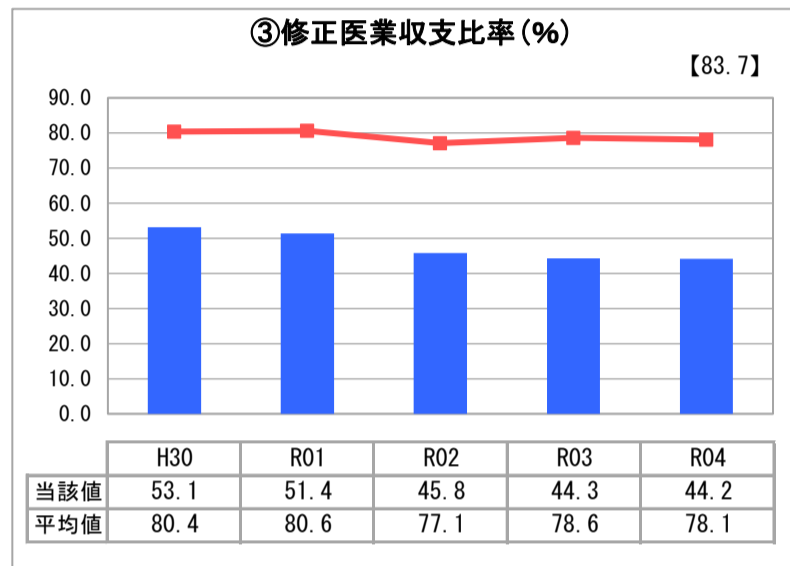
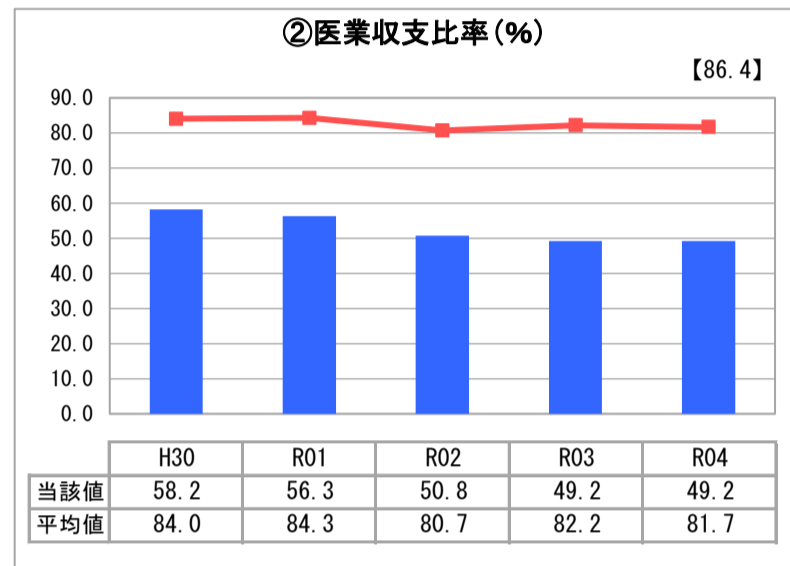
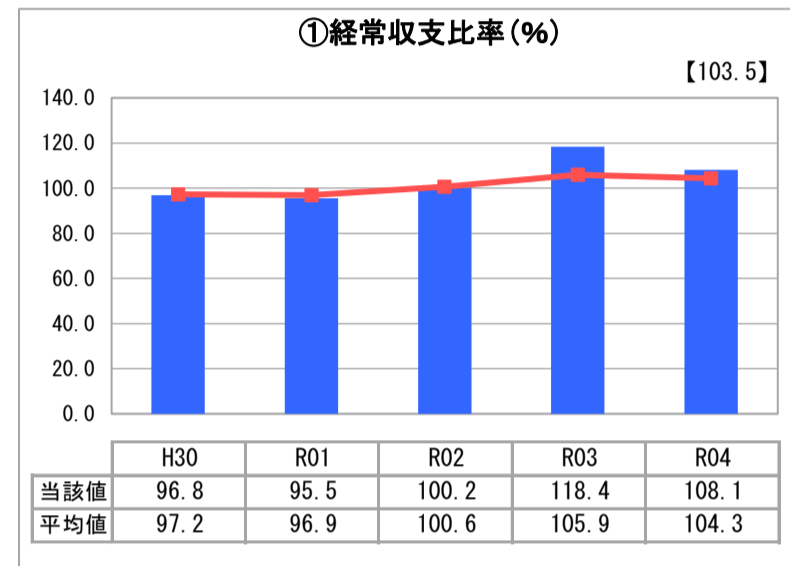
②器械備品減価償却率については、一般X線撮影装置等の購入により低下している。

全体総括

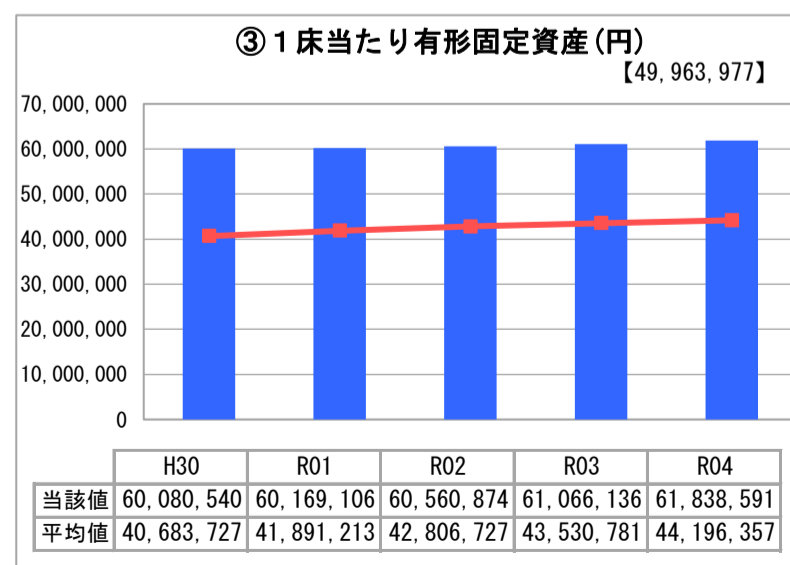
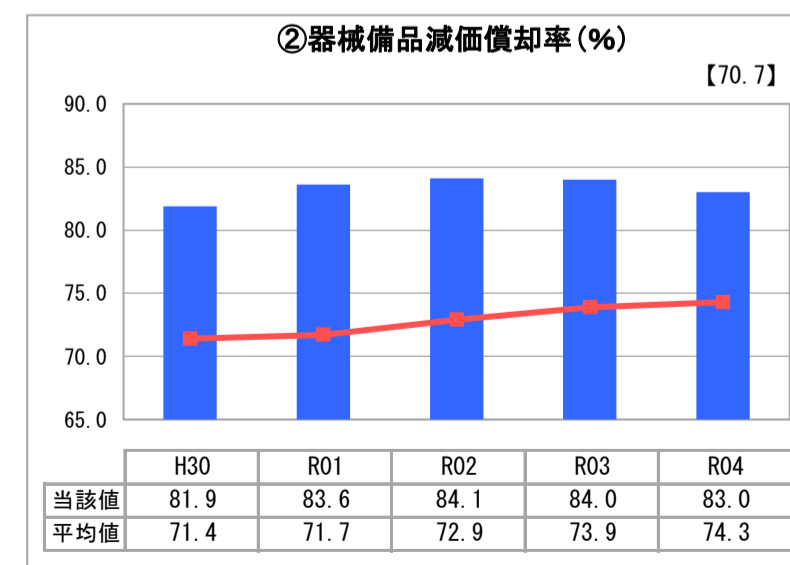
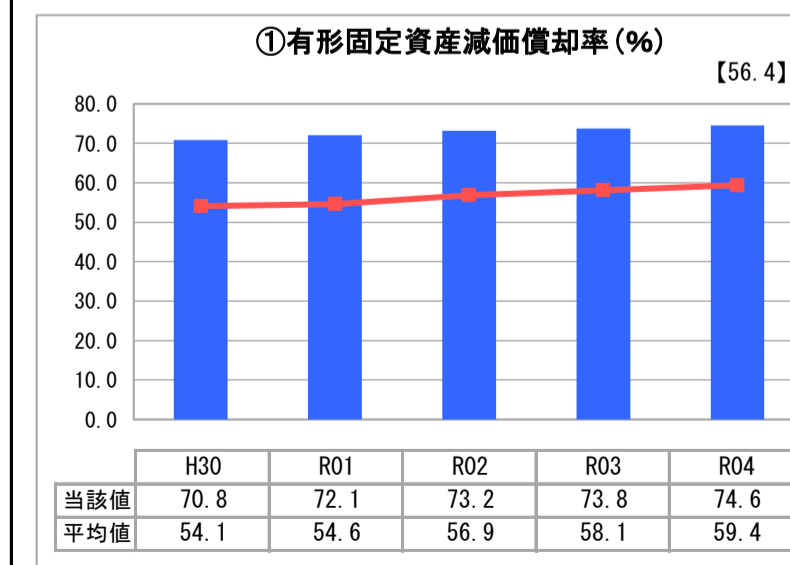
「1. 経営の健全性・効率性について」の指標である②医療収支比率、③修正医療収支比率及び④病床利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度と同程度になっている。⑥外来患者1人1日当たり収益は減少傾向にあることから、引き続き、診療報酬請求の適正化による医療収益の確保や、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保していくとともに、効率的な費用の執行が必要となる。

また、「2. 老朽化の状況について」の指標である①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を経過した医療機器等の更新を進めつつ、医療収益の確保を図ることが必要となる。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 羽幌病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,139,913	8,702	第2種該当	第2種該当	10:1

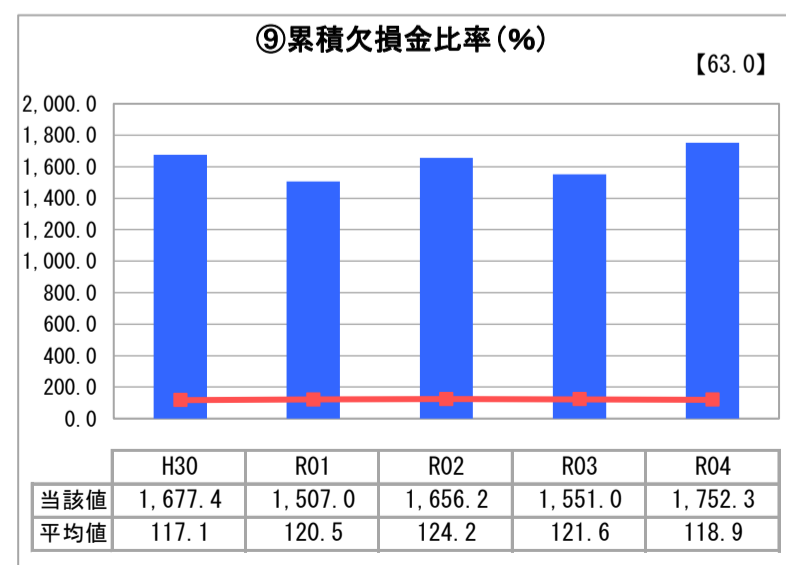
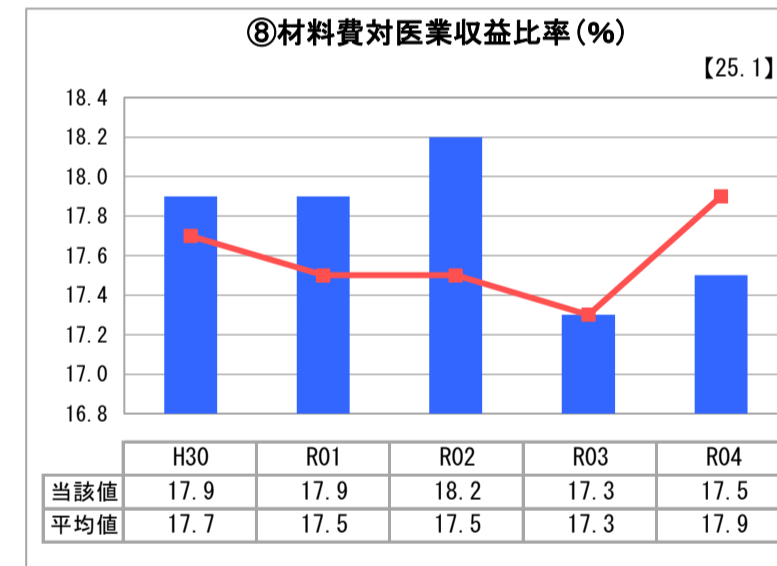
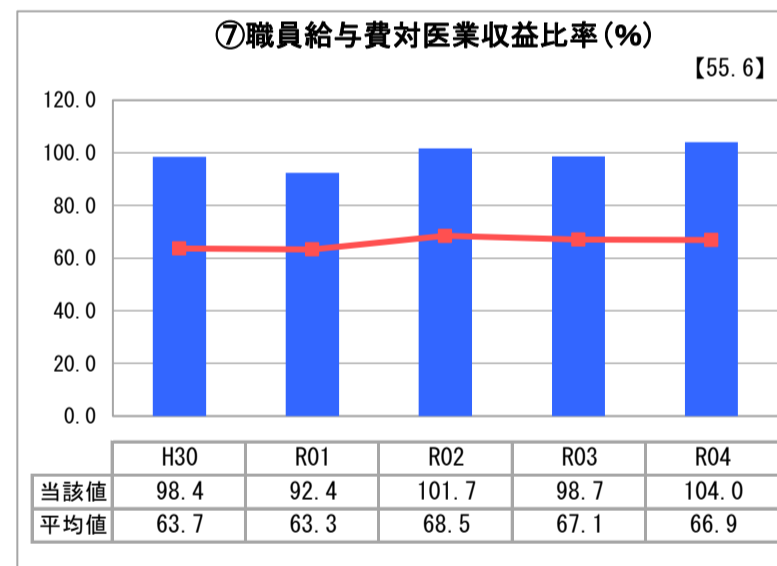
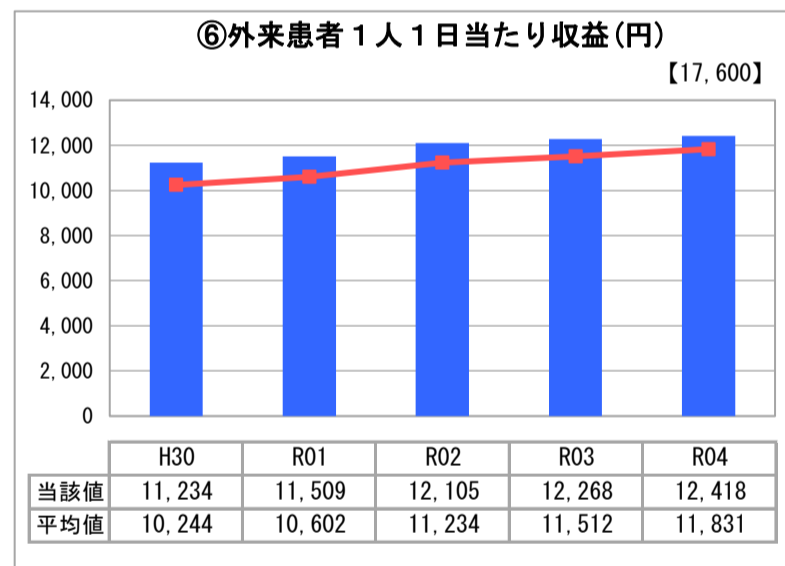
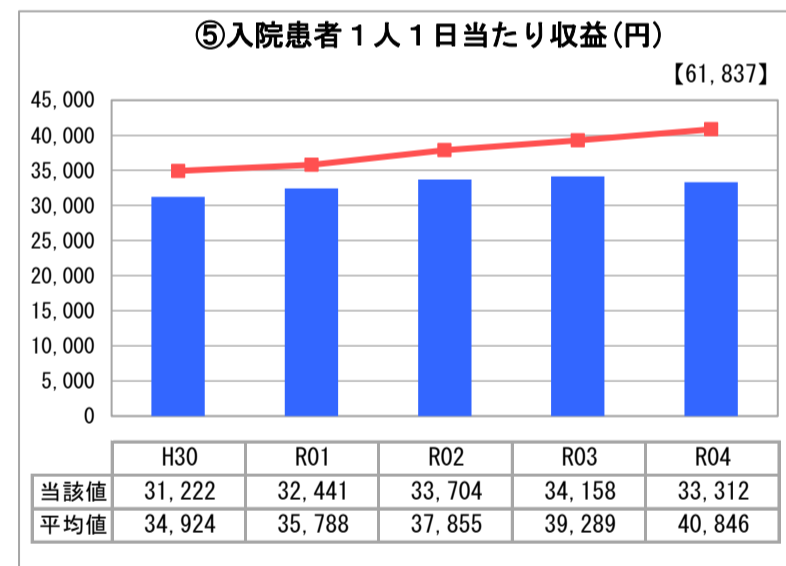
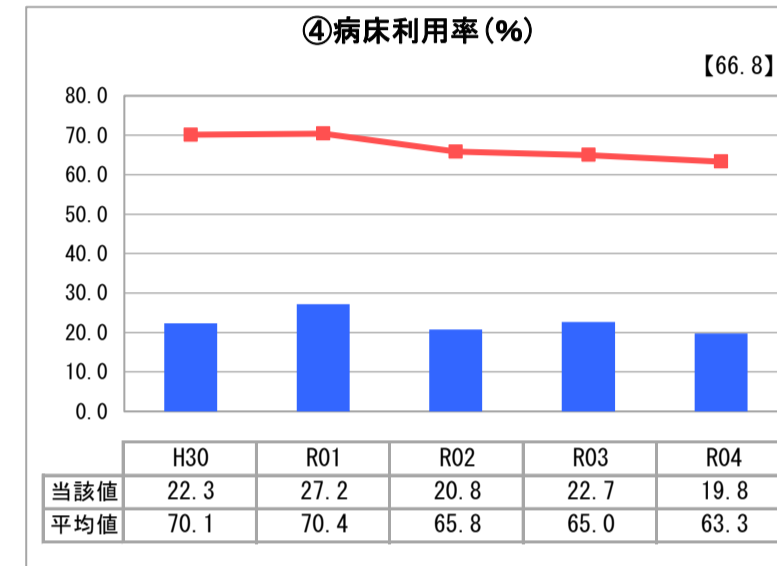
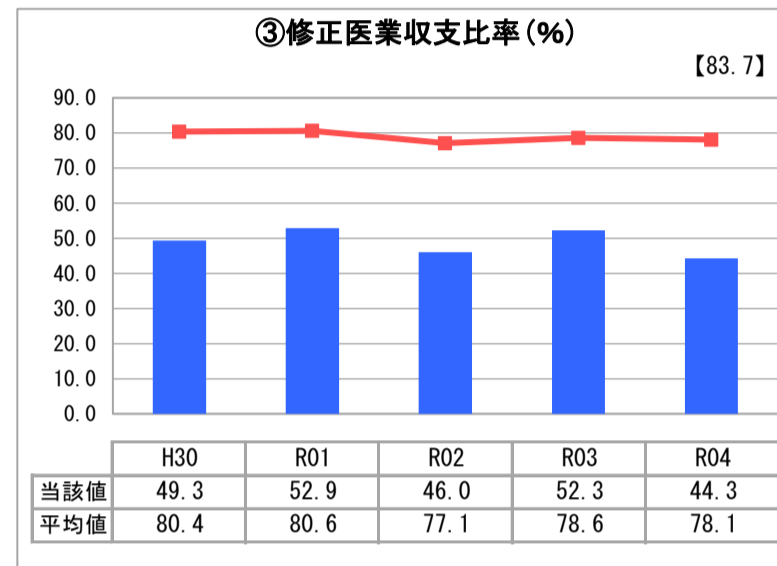
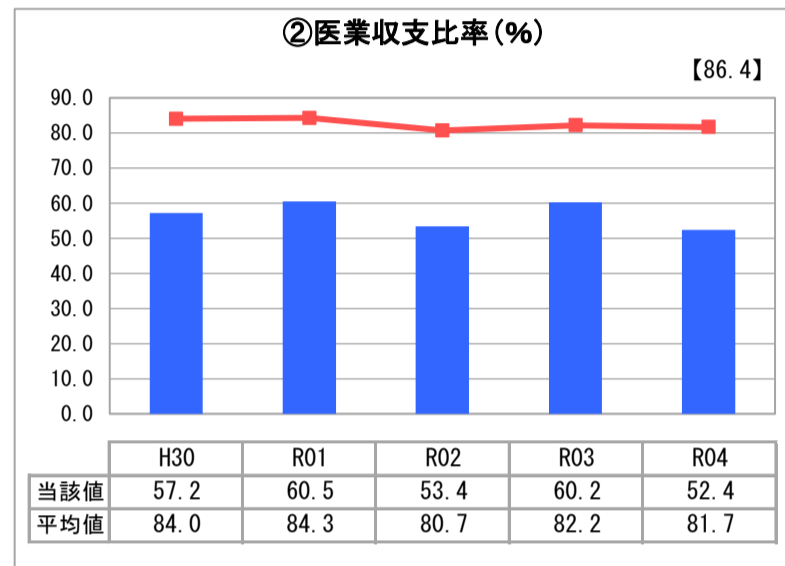
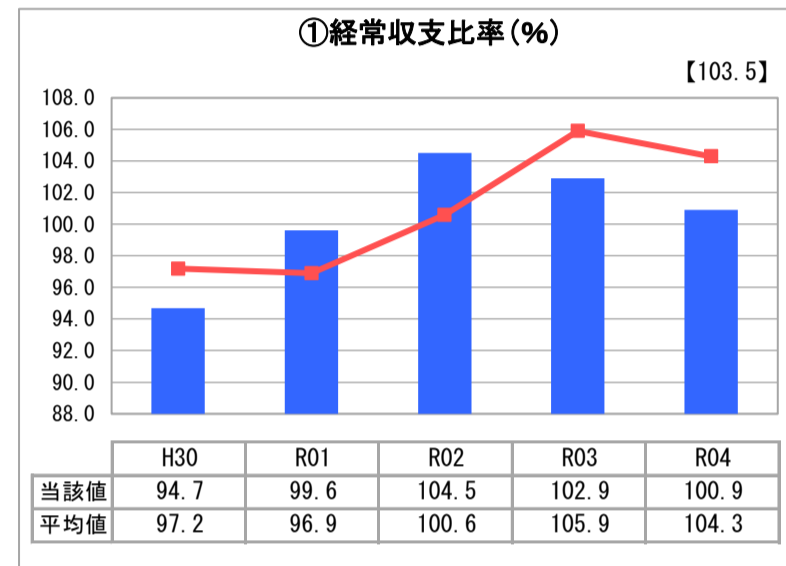
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

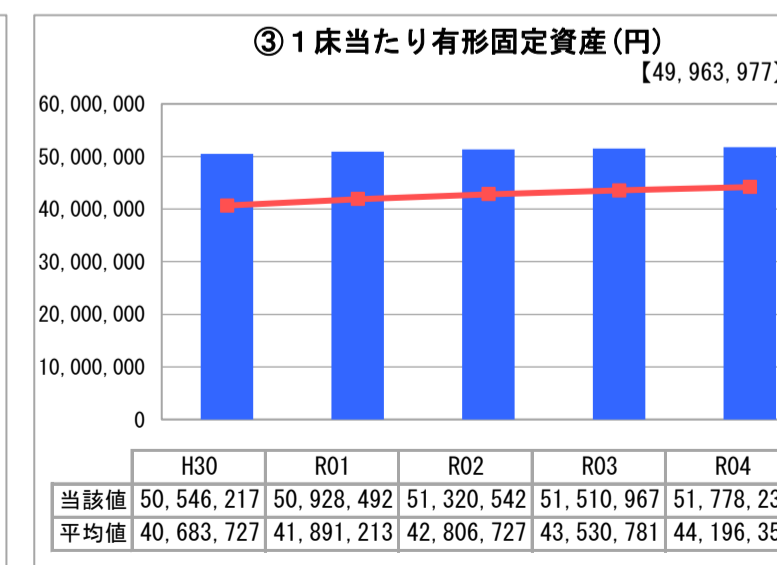
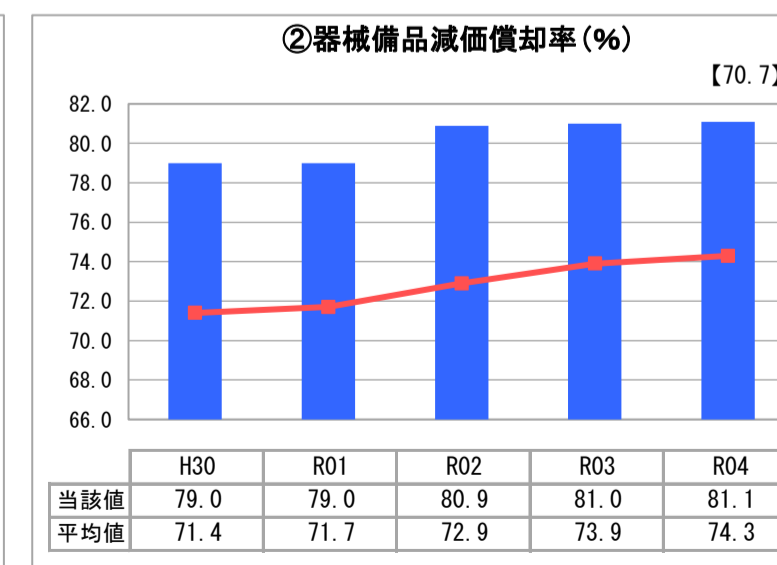
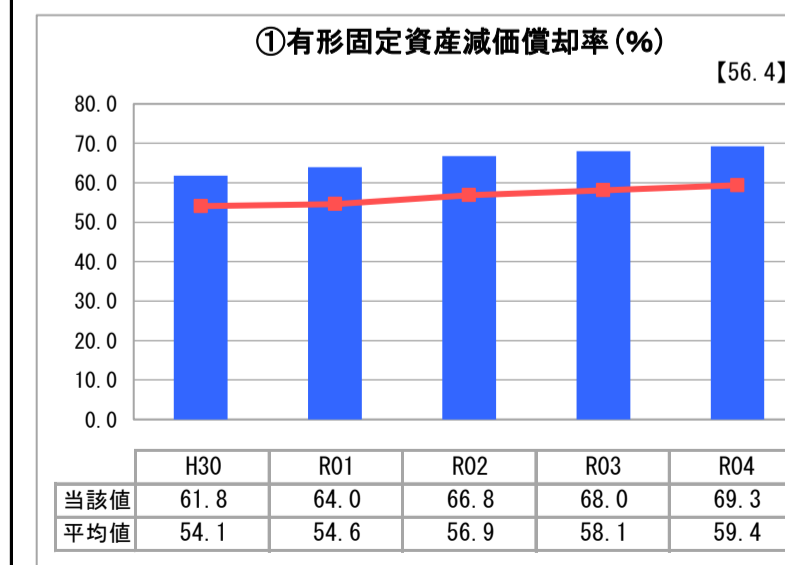
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
120	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
42	-	42

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

留萌第二次医療圏における地域センター病院として、同一圏域のセンター病院や地域の医療機関と連携を図るとともに、人工透析を実施している。
また、令和4年度は新型コロナウイルス感染症における受入協力医療機関として、地域の感染症患者の受入れを行った。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、新型コロナウイルス感染症患者の受入れに伴う受診制限のほか、医師の欠員等により、入院・外来患者数及び医業収益が減少したため低下している。
④病床利用率については、新型コロナウイルス感染症患者の受入れによる受診制限等に伴う患者数減により低下している。
⑨累積欠損金比率については、入院・外来患者数の減少に伴う医業収益の減少により上昇している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、有形固定資産の耐用年数を経過しても使用していることから、前年度比で上昇している。
②器械備品減価償却率については、平成28年度の高度医療機器の更新により減少したが、その後は経年により上昇傾向にある。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性について」の指標である②医業収支比率、③修正医業収支比率、④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益は前年度と比較して低下していることから、引き続き、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、医師の確保など圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保するとともに、効率的な費用の執行を行う必要がある。
また、「2. 老朽化の状況について」の指標である①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率ともに上昇傾向にあるため、耐用年数を経過した医療機器等の更新を進めつつ、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 緑ヶ丘病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,139,913	13,670	非該当	非該当	15:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

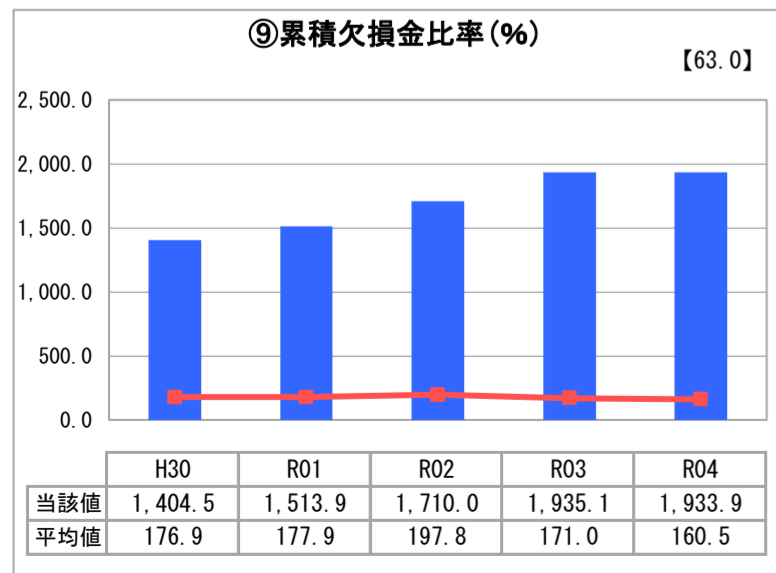
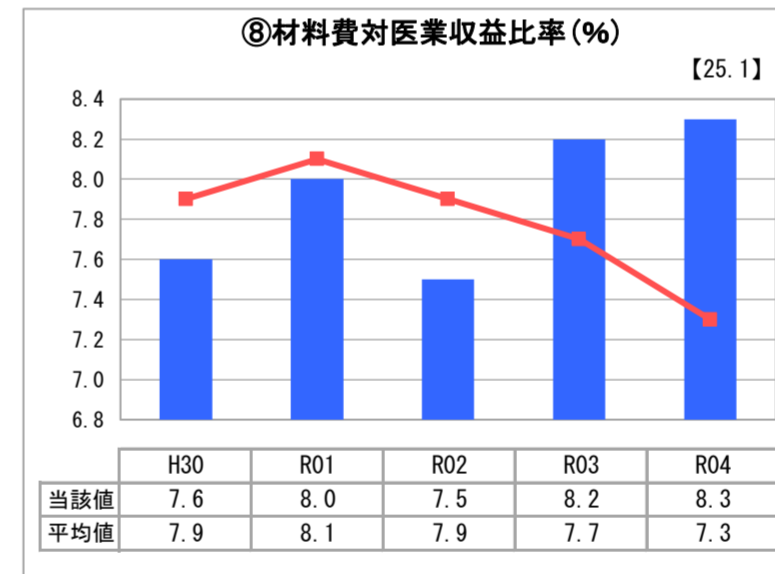
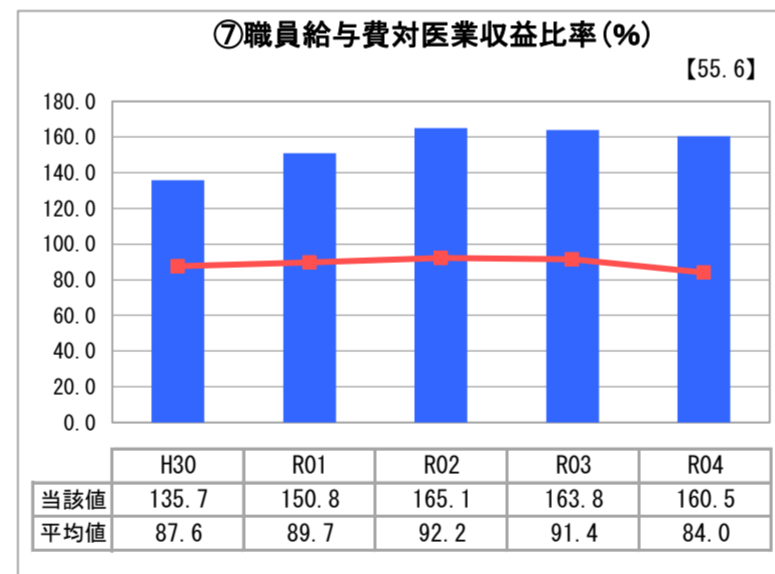
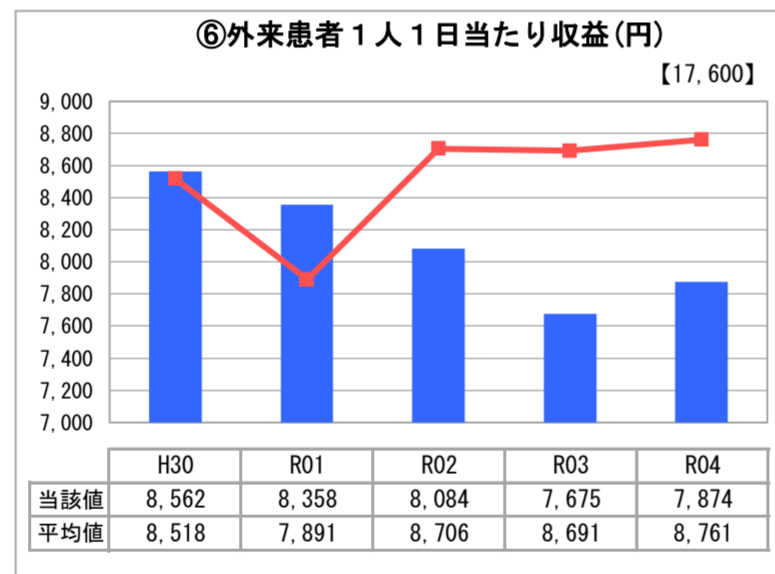
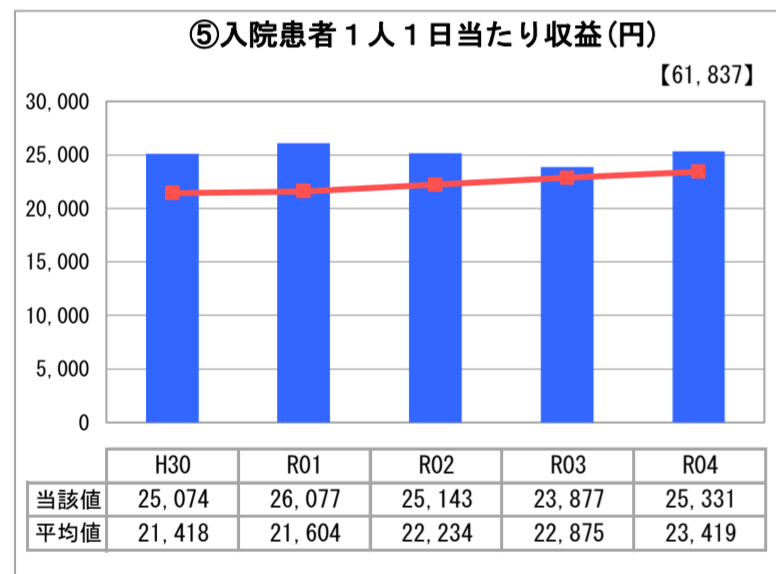
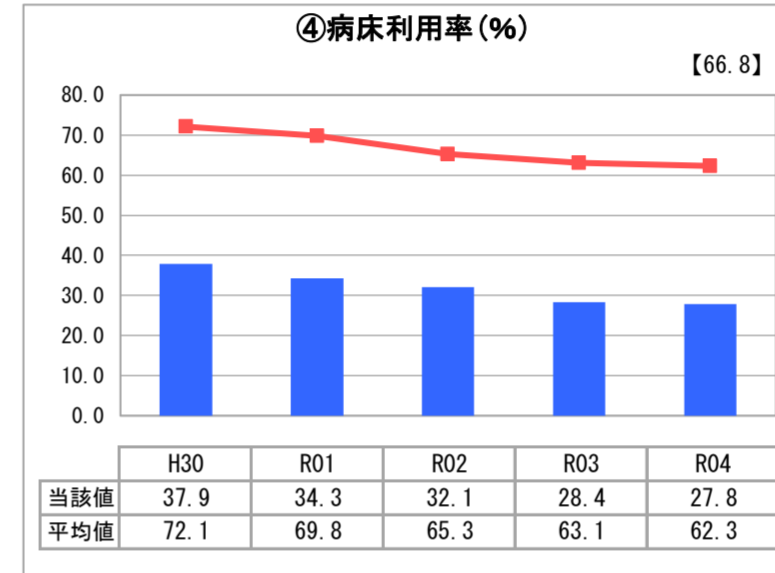
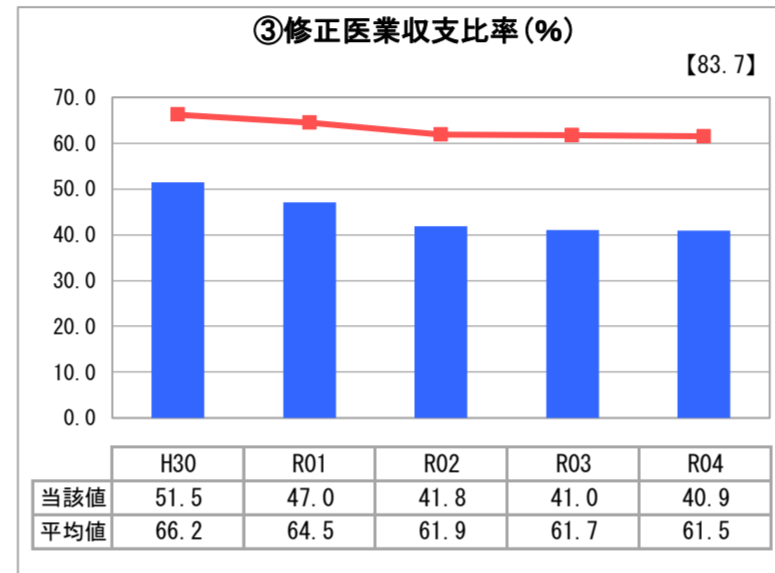
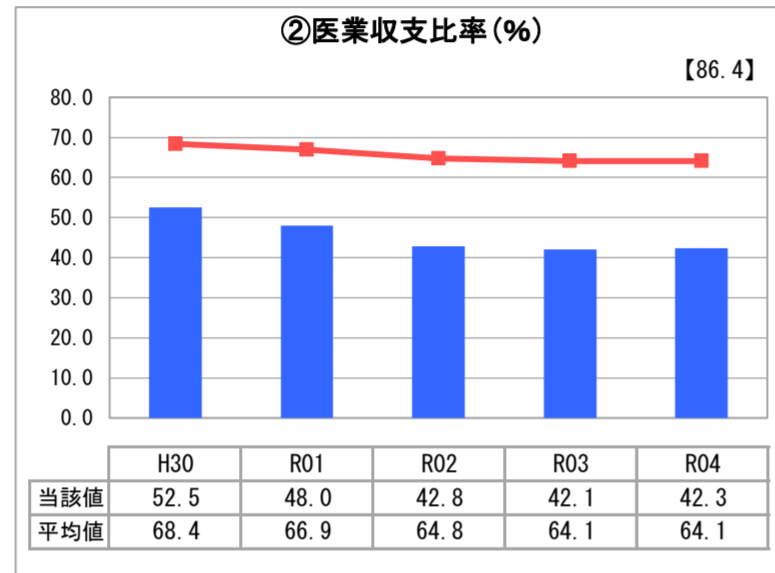
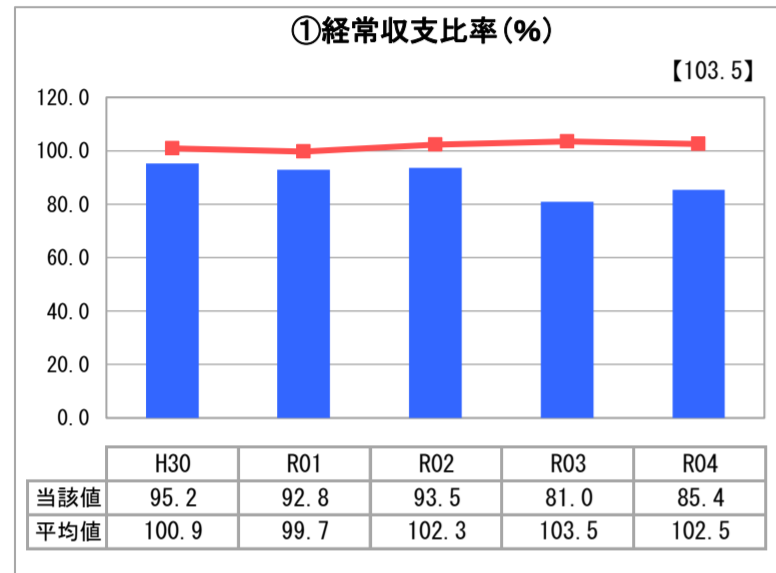
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
168	-	168
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

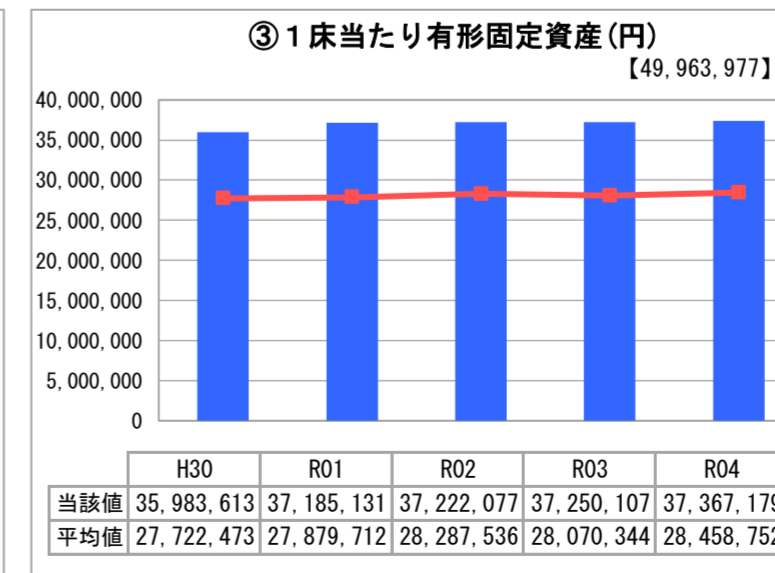
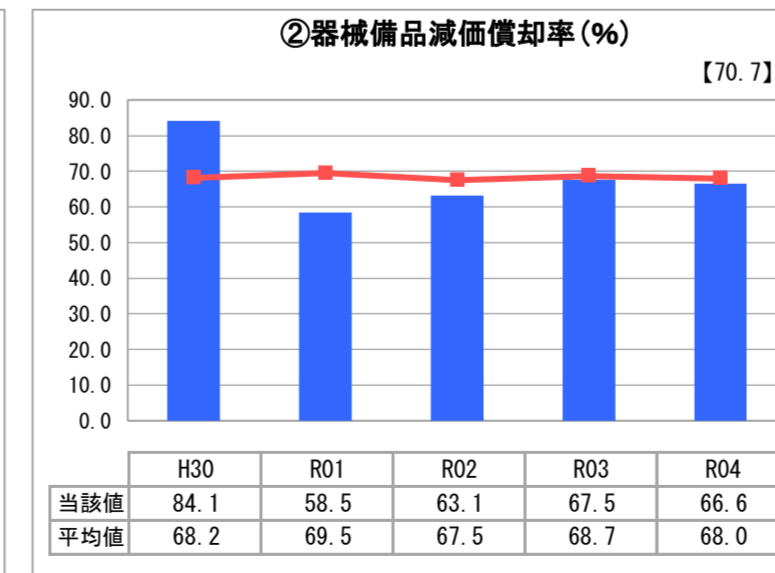
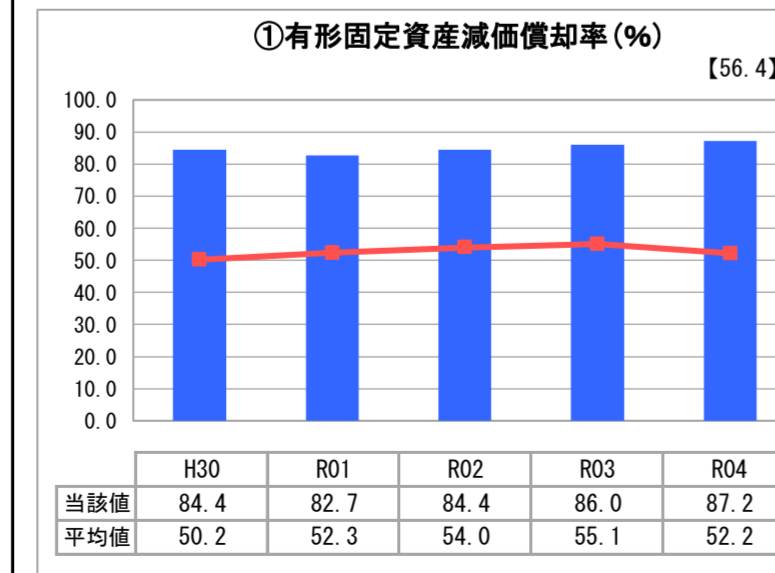
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

十勝第三次医療圏における精神科救急及び急性期医療の病院として、平成27年3月から精神科救急入院料病棟の運用を開始し、入院後の早期の地域生活への移行や、退院後の訪問看護等による在宅支援、圏域で唯一となる児童・思春期精神科医療の専門外来や専用病床を有するなど、圏域における中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、精神科救急入院対象者の受入数増加に伴う診療単価及び医業収益の増加や、一般会計からの繰入金の増加により上昇している。

⑤ 入院患者 1人 1日当たり収益については、精神科救急急性期医療入院料の算定率増加等により上昇している。

⑥ 外来患者 1人 1日当たり収益については、児童・思春期精神科専門管理加算の区分新設による収益単価の増加により上昇している。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率については、有形固定資産の耐用年数を経過しても使用していることから、前年度比で上昇している。

② 器械備品減価償却率については、CT装置の更新等により一時的に低下している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性について」の指標である②医業収支比率、③修正医業収支比率は前年と同程度だが、⑤入院患者 1人 1日当たり収益、⑥外来患者 1人 1日当たり収益は増加しているため、引き続き、圏域内で必要とされる機能の充実を図り、他の医療機関との連携を図りながら患者数の確保に努める。

また、「2. 老朽化の状況について」の指標である①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を経過した医療機器等の更新を進めるとともに、患者ニーズに対応した療養環境を整備し患者数及び医業収益の確保を図ることが必要となる。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 向陽ヶ丘病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,139,913	7,074	非該当	非該当	15:1

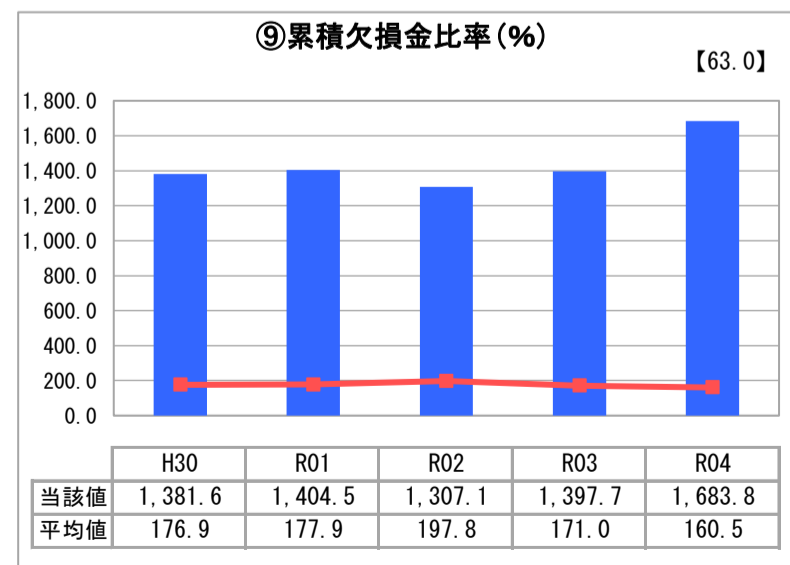
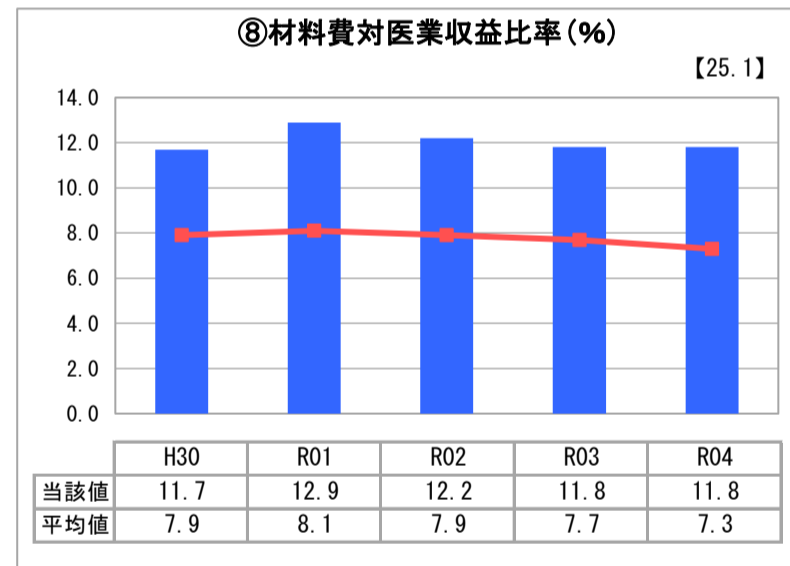
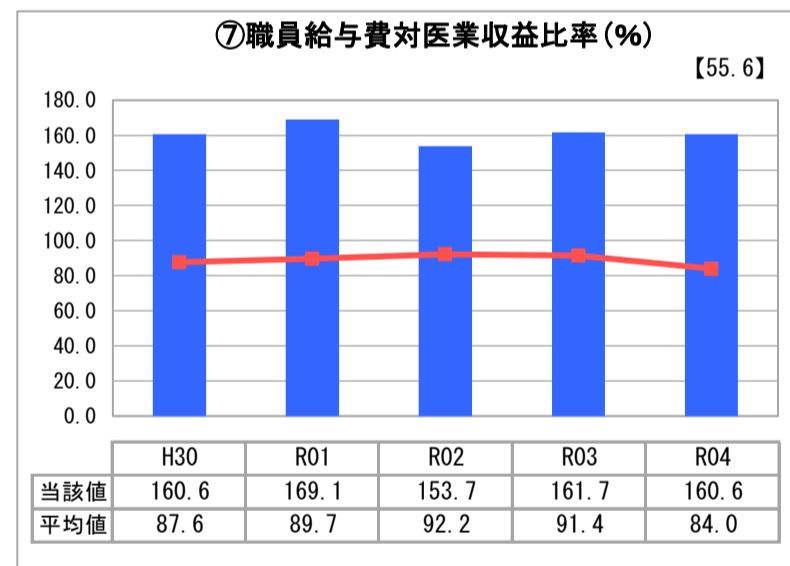
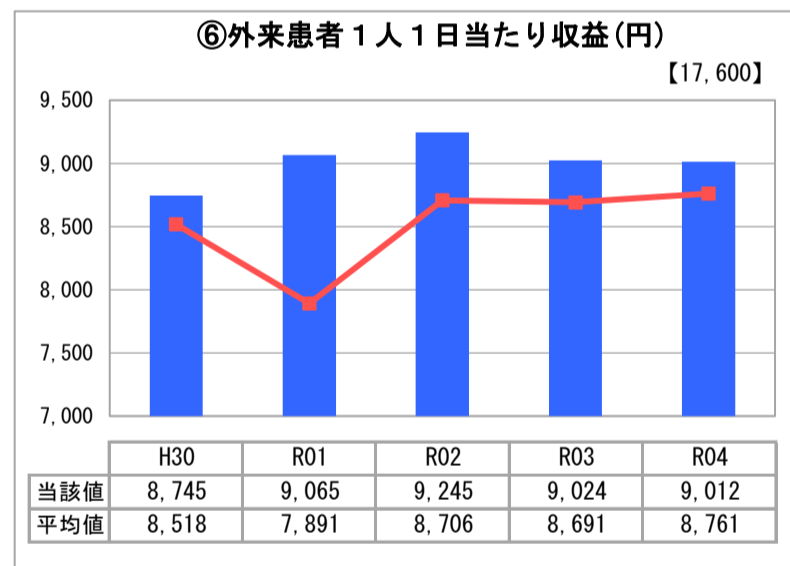
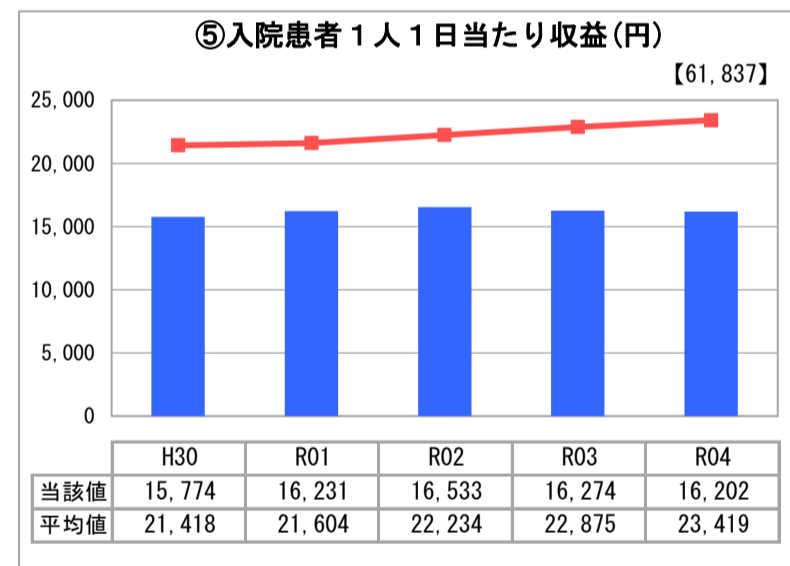
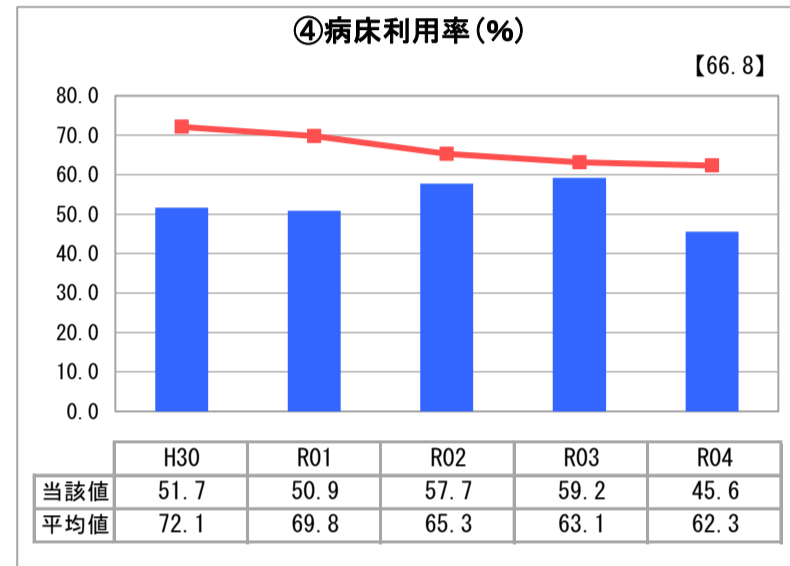
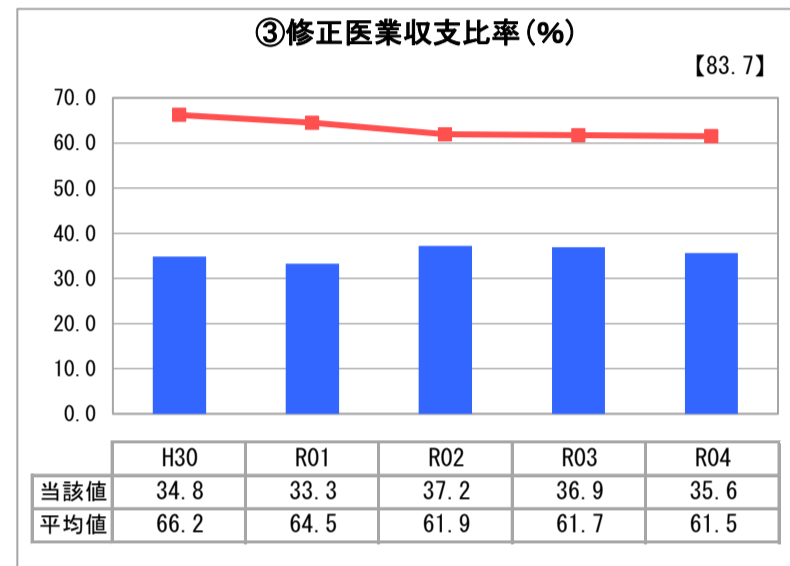
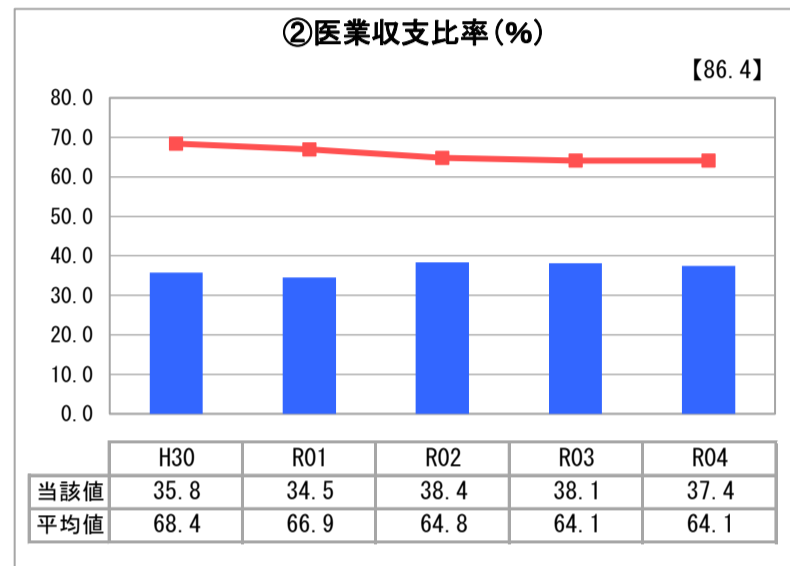
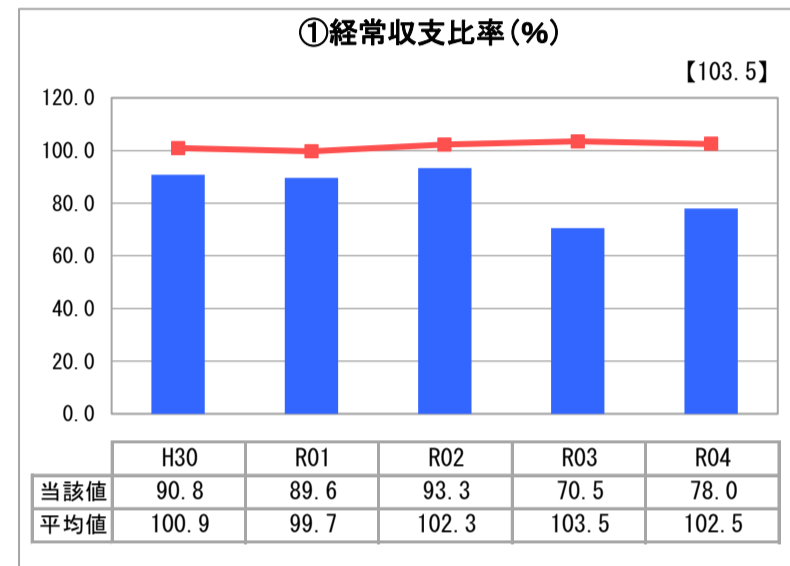
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

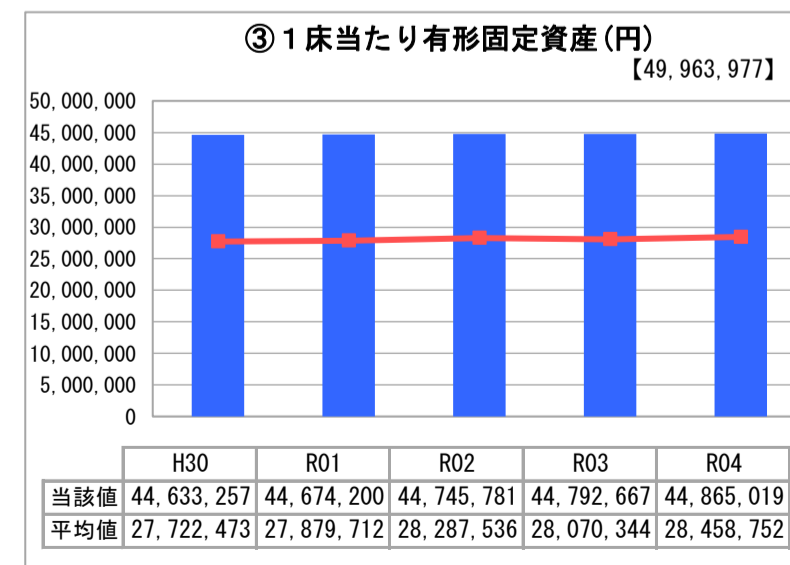
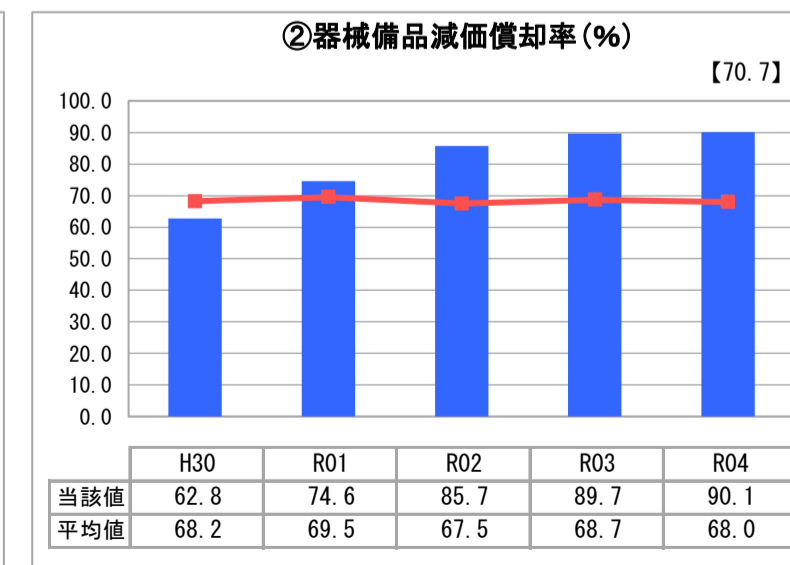
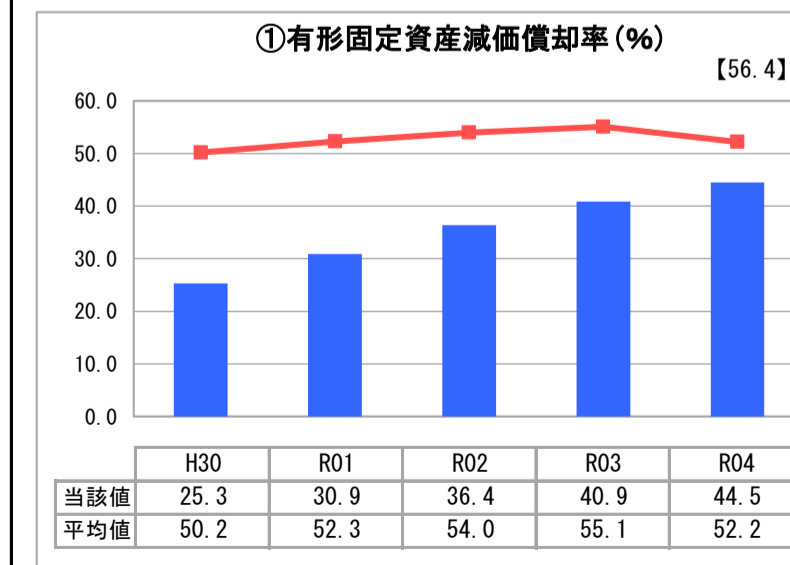
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
105	-	105
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

オホーツク第三次医療圏における精神科救急及び急性期医療の病院として、入院後の早期の地域生活への移行や、退院後の訪問看護等による在宅支援、平成26年度に開設した認知症疾患医療センターによる専門医療などにより、圏域における中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、一般会計からの繰入金増加により上昇している。

④病床利用率、⑤⑥入院及び外来患者1人1日当たり収益については、地域連携室の活動を通じ他機関との連携による患者の受入れを行っているが、薬剤・環境調整や施設入所に伴う退院数の増加、近隣市町村での新型コロナウイルス流行に伴う受診・デイケア通所控え等により医業収益は減少し、比率等も低下・減少している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率については、平成28年度の病院新築に伴う固定資産の計上により一時的に比率は低下したが、その後経年により上昇傾向にある。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性について」の指標である②医業収支比率、③修正医業収支比率、⑤入院患者1人1日当たり収益、⑥外来患者1人1日当たり収益は、前年度と比べ低下・減少傾向にあることから、引き続き、圏域内において必要とされる機能の充実を図りながら患者数を確保し、診療報酬の適正化により収益を確保していくことが必要となる。

また、「2. 老朽化の状況について」の指標である①有形固定資産減価償却率や②器械備品減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を経過した医療機器等の更新を進めつつ、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 北見病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	6	-	透訓	臨
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,139,913	5,378	非該当	非該当	7:1

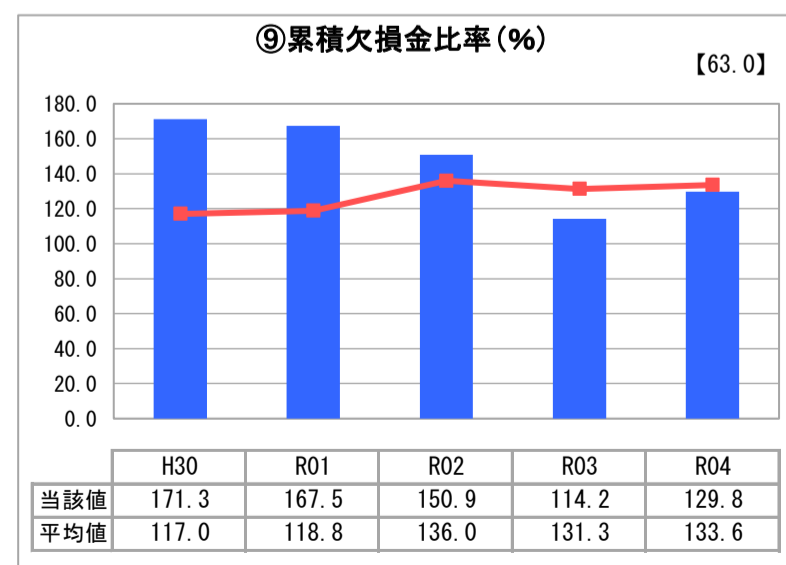
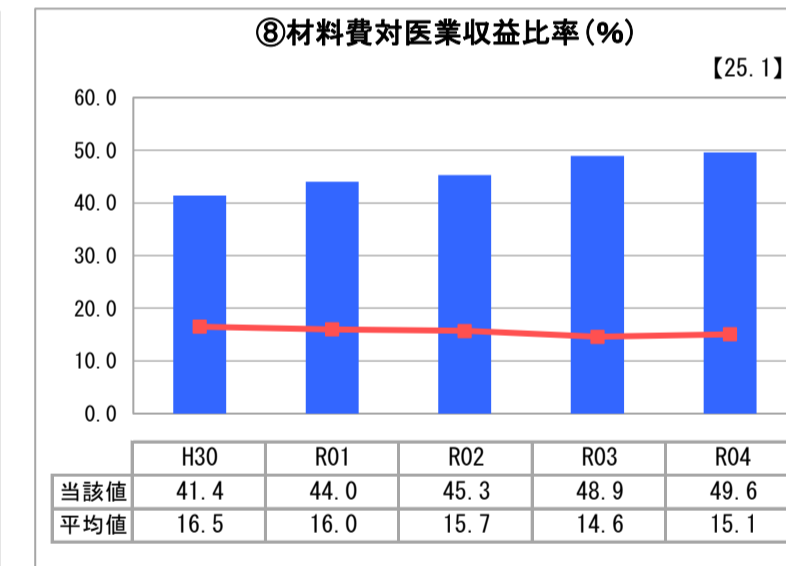
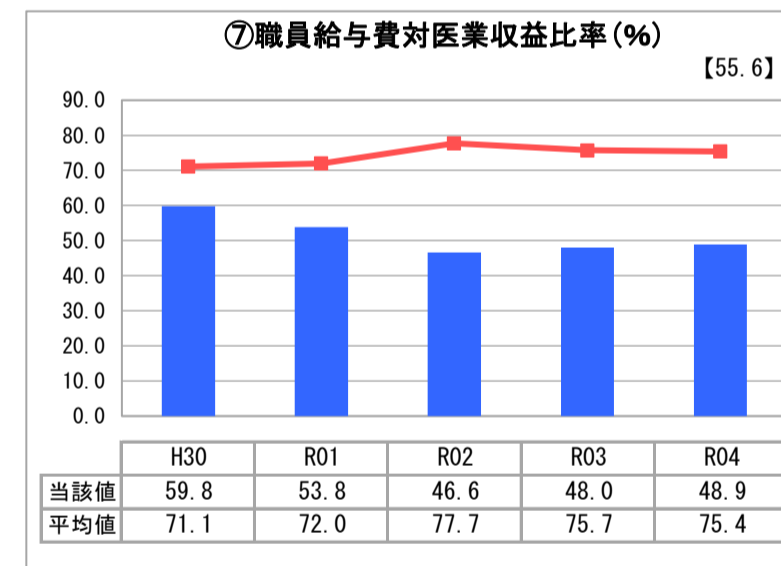
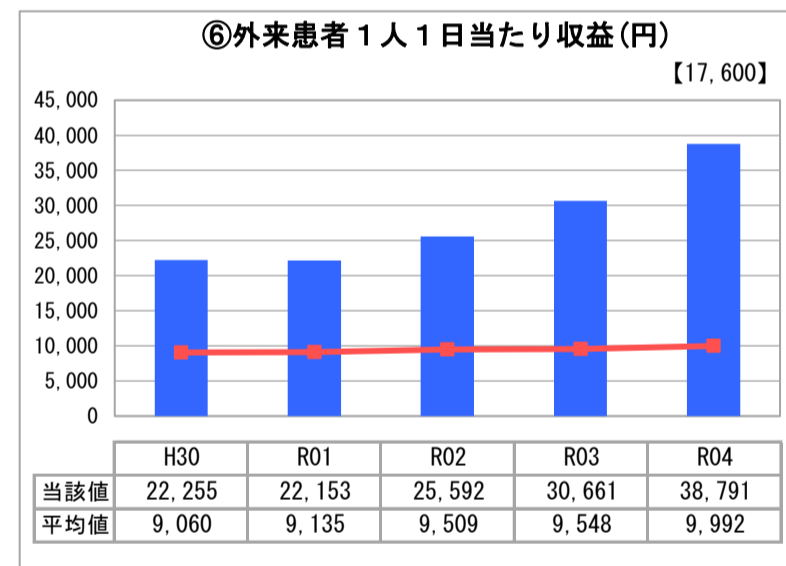
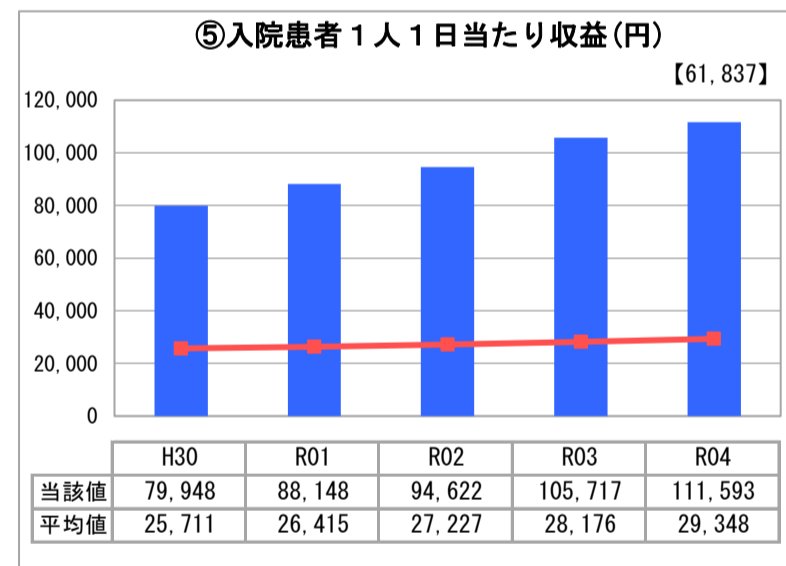
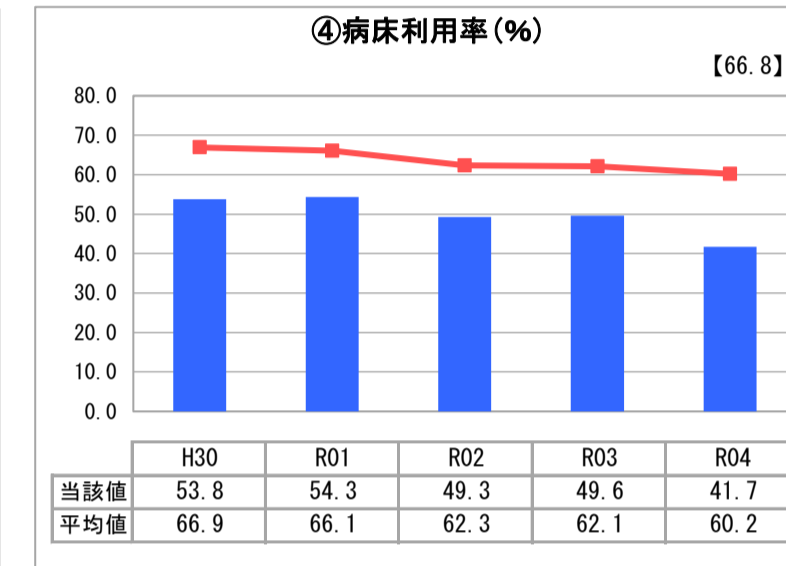
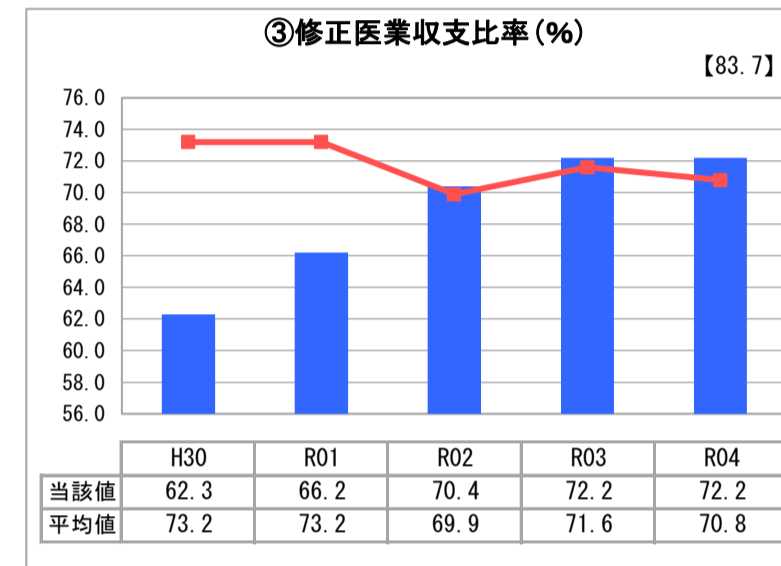
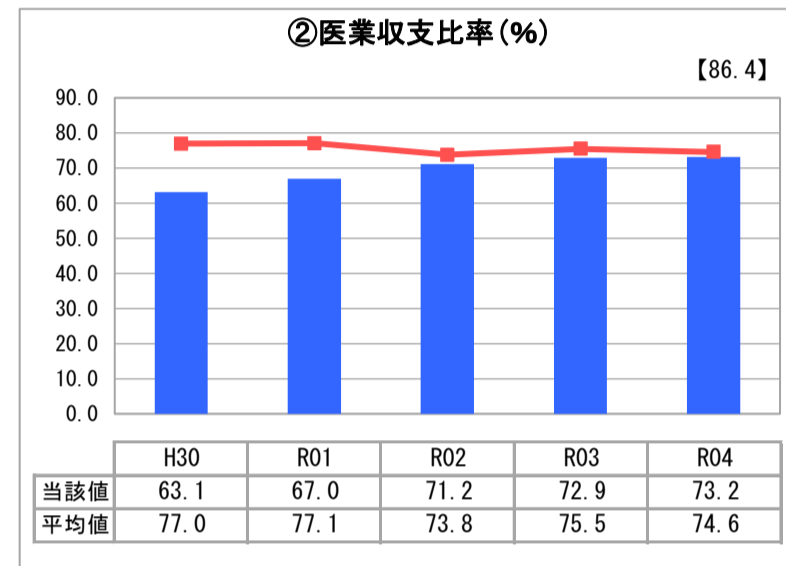
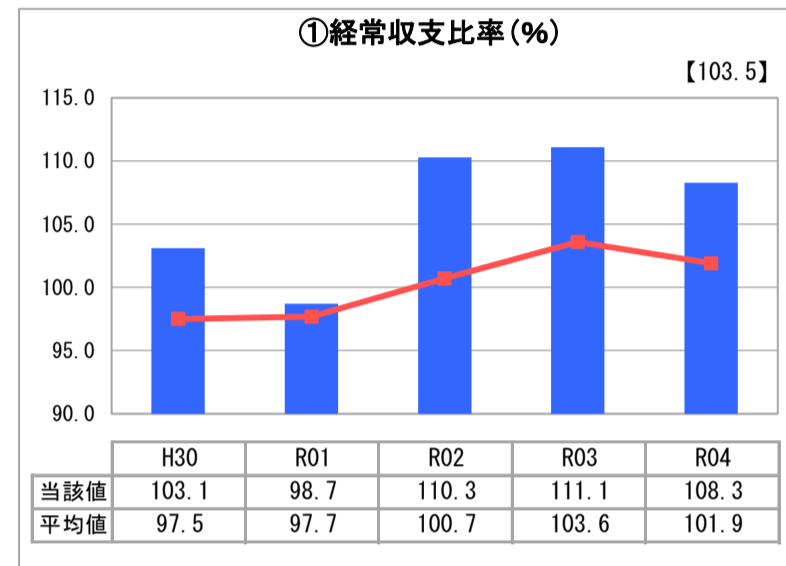
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

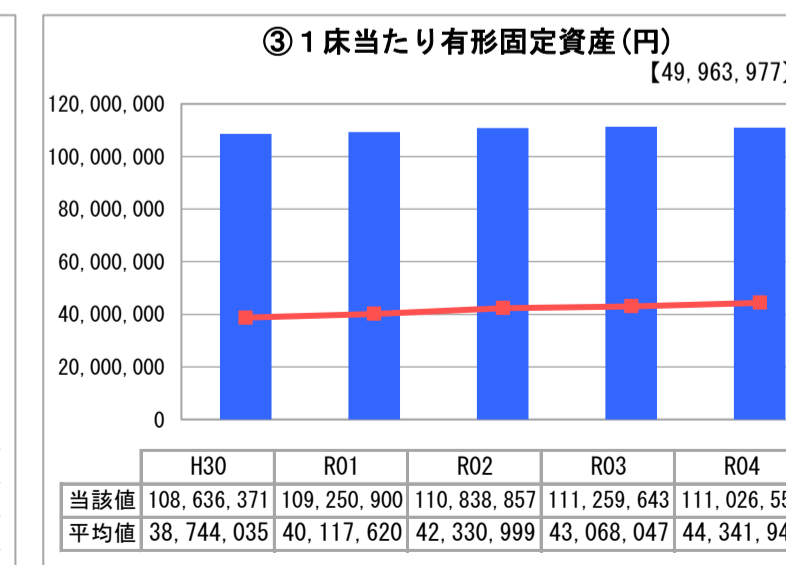
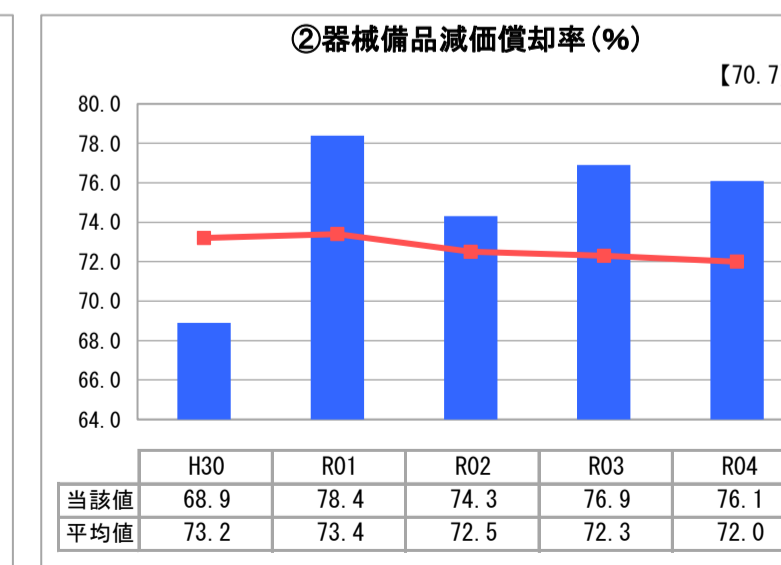
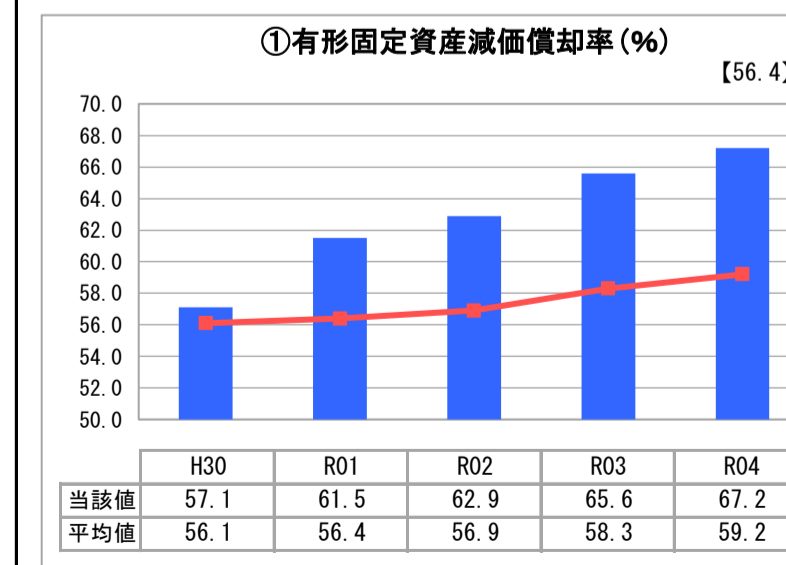
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
70	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	70
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
54	-	54

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	平成30
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

オホーツク第三次医療圏域で唯一、心臓血管外科手術を実施するなど、圏域における循環器・呼吸器疾患の高度・専門医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、平成30年度から指定管理者制度を導入したことにより、管理運営コストの減少により上昇したが、令和4年度は医業外費用の増加により低下している。ただし、全国平均よりも高い水準を維持している。

⑤入院患者1人1日当たり収益については、新型コロナウイルス感染症患者の受入れや、診療報酬が高い心臓血管外科の手術数増加により増加している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、耐用年数を経過しても使用していることから、前年と比べ比率は上昇している。

②器械備品減価償却率については、心臓血管外科手術用器械セットの更新等により減少している。

全体総括

指定管理制度導入前と比較し、「1. 経営の健全性・効率性について」の指標である②医業収支比率、③修正医業修正比率、⑤⑥入院及び外来患者1人1日当たり収益は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも心臓血管外科手術件数の増加等により前年度と比べ上昇・増加している。

指定管理者制度による運営を継続し、引き続き、経営の健全化・効率性について検証していく必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 子ども総合医療・療育センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	-	I 未訓ガ	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,139,913	18,116	非該当	非該当	7：1

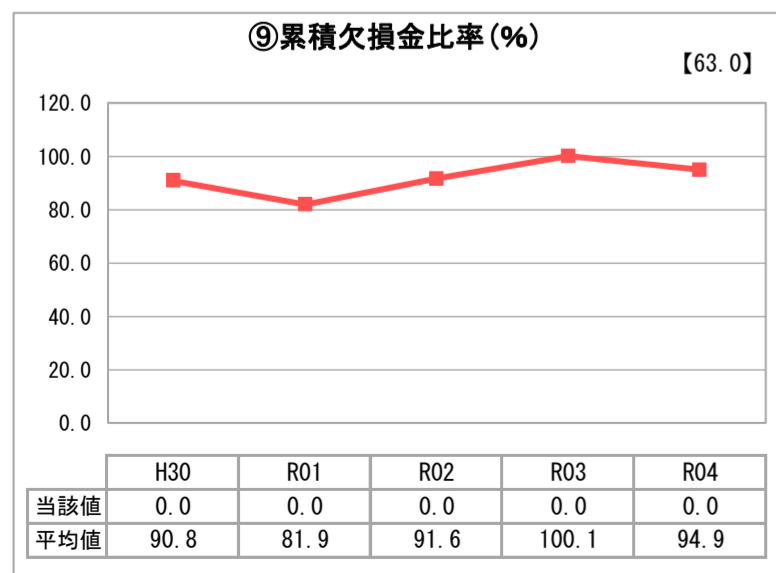
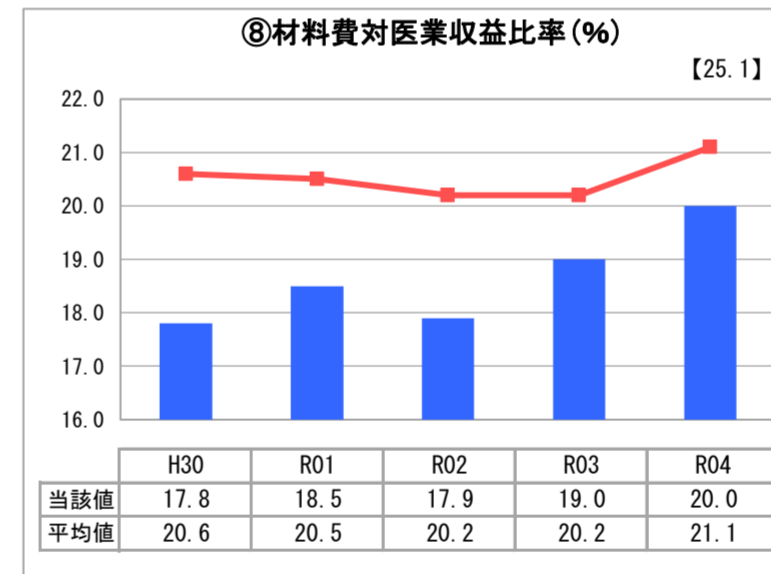
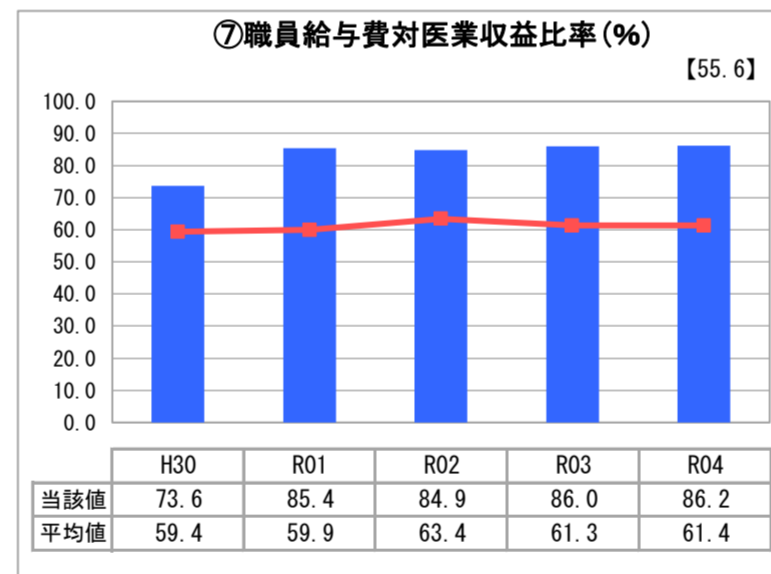
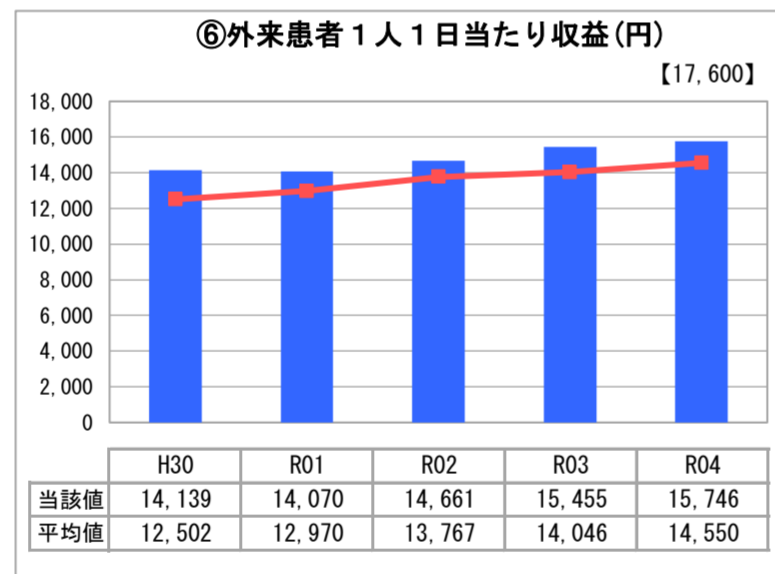
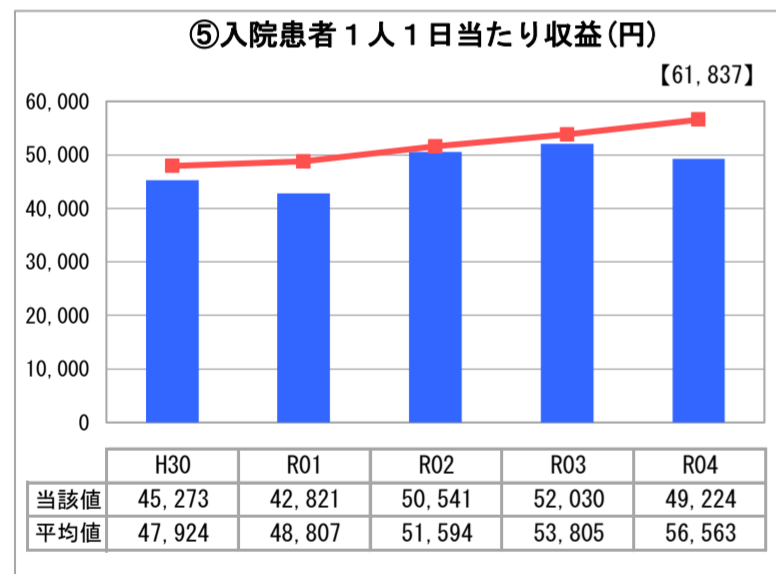
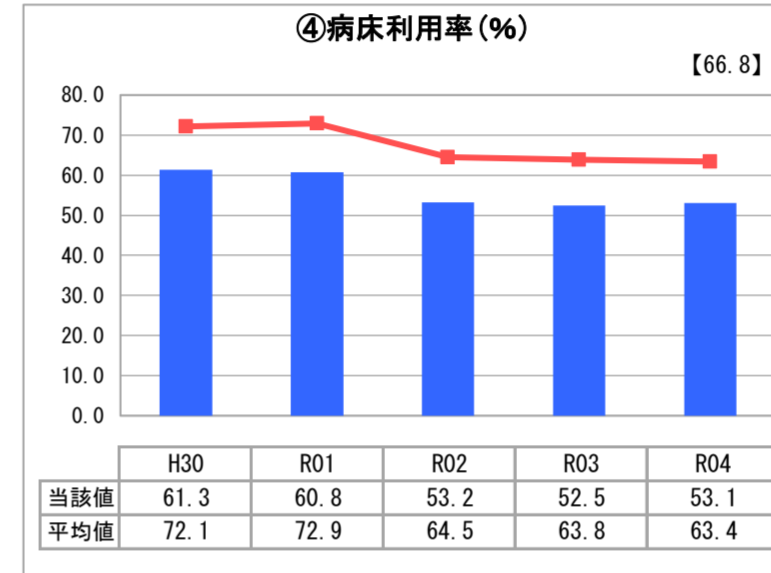
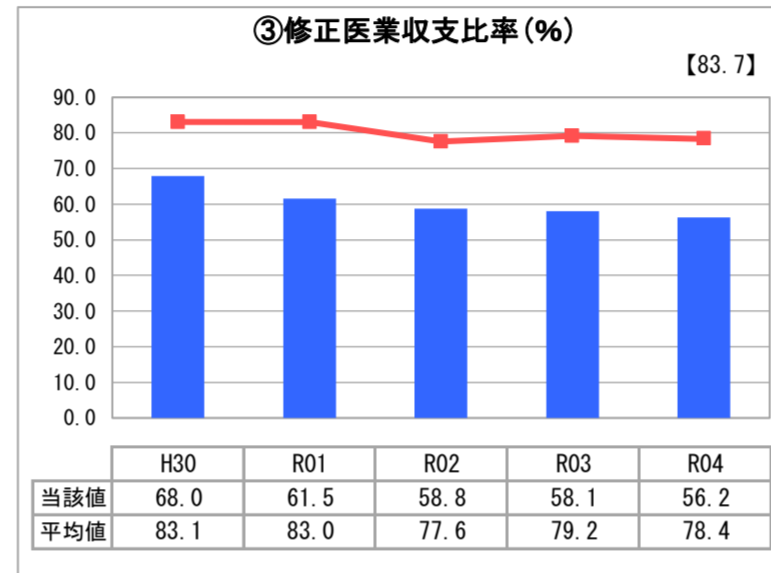
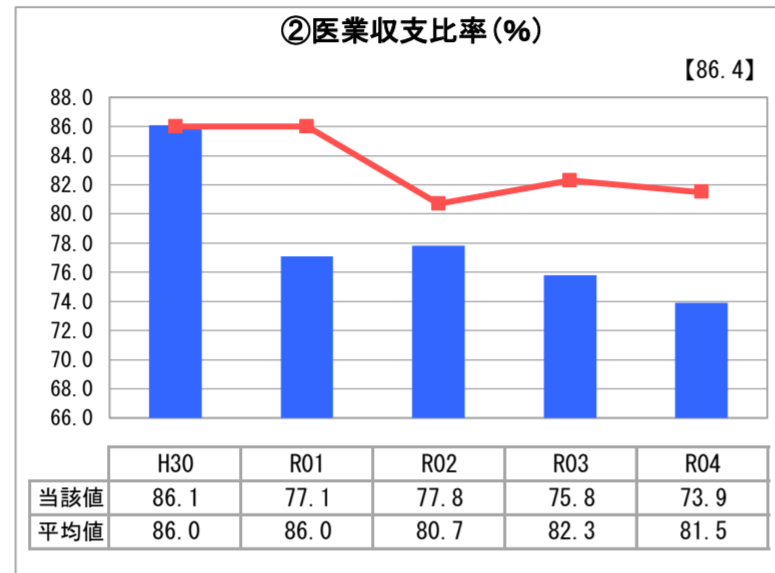
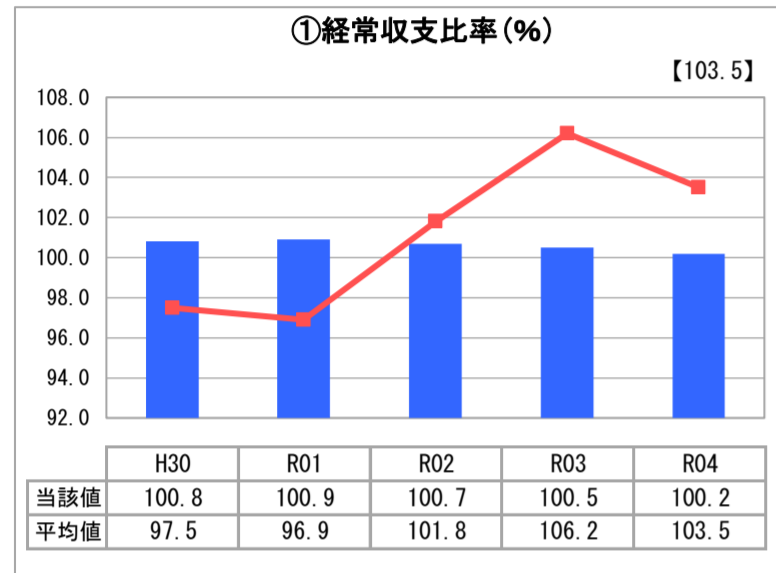
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

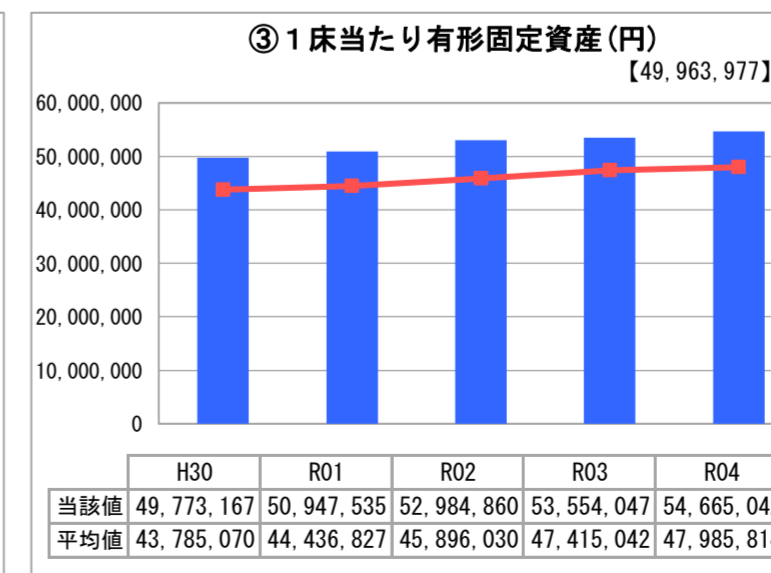
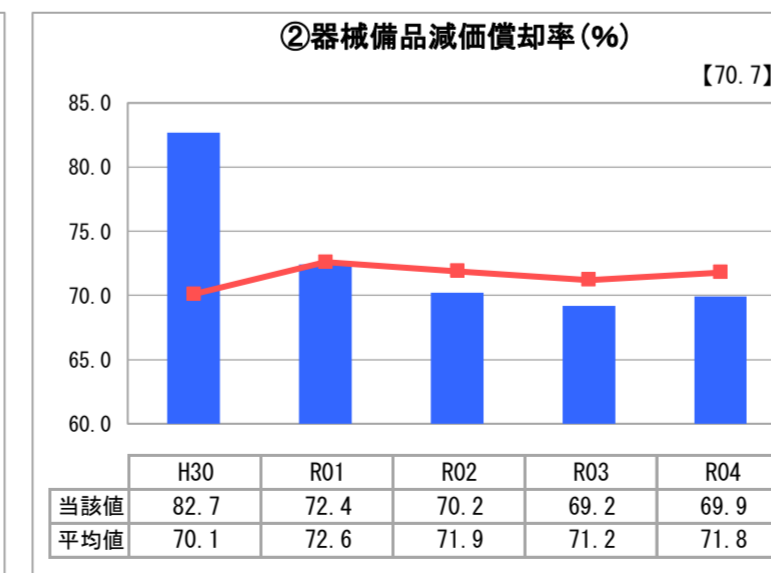
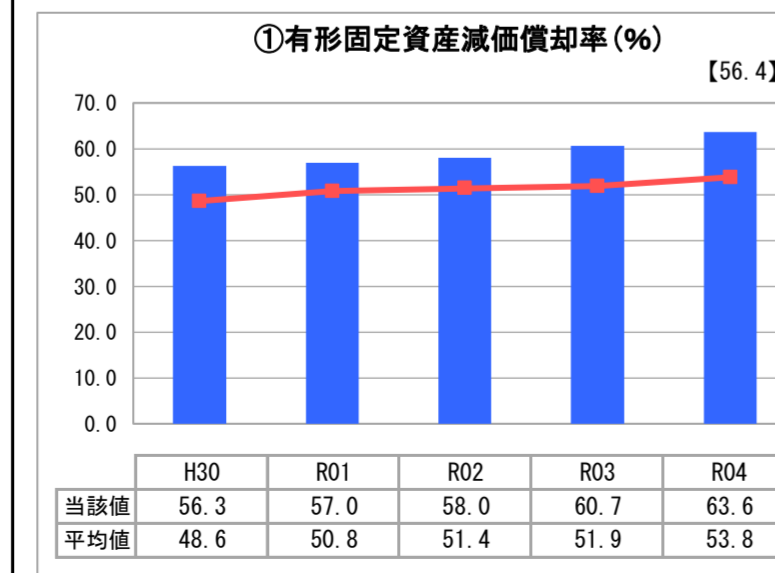
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
215	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	215
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
148	-	148

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

北海道全域を圏域としており、ハイリスクの胎児や新生児に対する特殊な周産期医療を提供する特定機能周産期母子医療センター機能、先天性心疾患等への高度医療を提供する循環器病センター機能、医学的リハビリテーション等を提供する総合発達支援センター機能を有しており、医療部門と療育部門が連携した複合的な役割を担っている。
令和4年度においては、感染症ワクチンの集団接種に医師等を派遣した。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、一般会計からの繰入金増加により前年度と同程度となっている。

②医業収支比率については、新型コロナウイルス感染症の影響による入院抑制や在院日数の短縮化等により低下している。

⑤外来患者1人1日当たり収益については、新型コロナウイルス感染症の影響により、発熱患者の受入数が増加し検査収益も増加したことや、精神科専門療法の算定等で増加している。

⑧材料費対医業収益比率については、医業収益の減少に加えて、コロナ検査試薬の増加や他科と比べ材料費を要する循環器病センターでの患者構成比率の上昇に伴い、上昇している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、耐用年数を経過してからも使用しており、前年度と比べ上昇している。

②器械備品減価償却率については、令和3年度に高額な器械備品を更新したことから、一時的に低下しているが、その後は経年により上昇している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性について」の指標である②医業収支比率、③修正医業収支比率、⑤入院患者1人1日当たり収益は低下・減少していることから、引き続き、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保しつつ、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保していくこととともに効率的な費用の執行が必要となる。

また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を経過した設備等の更新を進めつつ、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。